

令和8年度 社会教育委員会議 第1回定例会 次第

日時 令和8年9月29日(火) 午後6時30分～
会場 ムトスぷらざ 2階多目的ホール

1 開 会

2 あいさつ(熊谷教育長)

3 協議事項(進行:後藤座長)

(1) 社会教育関係各課・館・所の令和7年度事業報告について 資料1

(2) 「飯田市こども読書活動推進計画(案)」について 資料 2

4 教育委員会各課・館・所からの報告事項

5 今後の日程

期 日	会議等名	会 場
10月 8 日(木)	飯伊地区社会教育委員連絡協議会 中北部ブロック研修会	豊丘村
10月29日(木)～ 30 日(金)	第68回 全国社会教育研究大会 (大阪大会)	大阪府大阪市・堺市
11月19日(木)～ 20 日(金)	第57回 関東甲信越静社会教育研究大会 (群馬大会)	群馬県高崎市
11月27日(金)	長野県社会教育委員連絡協議会理事会 [後藤委員]	オンライン
12月2日(水)	飯伊地区社会教育委員連絡協議会理事会 [後藤委員・今村(光)委員]	飯田合同庁舎
令和9年2月6日(土)	令和8年度 みらい創造教育推進フォーラム (一般参加として参加要請)	県公民館
2月12日(金)	長野県社会教育委員連絡協議会理事会 [後藤委員]	長野県庁
2月14日(日)	第64回 飯田市公民館大会 (来賓)	県公民館
3月中	社会教育委員会議 第2回定例会	市内社会教育施設

6 その他

7 閉 会

社会教育関係各課・館・所の令和 7 年度事業報告

ページ	事務事業名	課・館・所
3	小中学校キャリア教育推進事業	教育センター
4	地育力向上連携推進事業	生涯学習・スポーツ課
5	平和学習・人権教育推進事業	生涯学習・スポーツ課
6	社会教育運営事務	生涯学習・スポーツ課
7	科学実験教室推進事業	生涯学習・スポーツ課
8	わが家の結いタイム推進事業	生涯学習・スポーツ課
9	青少年育成事業	生涯学習・スポーツ課
10	文化・スポーツ活動の体制整備事業	生涯学習・スポーツ課
11	競技スポーツ振興支援事業	生涯学習・スポーツ課
12	市民スポーツ推進事業	生涯学習・スポーツ課
13	2028国民スポーツ大会開催準備事業	生涯学習・スポーツ課
14	体育施設等維持管理・整備事業	生涯学習・スポーツ課
15	文化財保護事業	文化財保護活用課
16	埋蔵文化財調査事業	文化財保護活用課
17	飯田古墳群保存活用事業	文化財保護活用課
18	恒川遺跡群保存活用事業	文化財保護活用課
19	公民館維持管理事業	公民館
20	乳幼児親子学習交流支援事業	公民館
21	多様な学習交流支援事業	公民館
22	高校生等次世代育成事業	公民館
23	飯田コミュニティスクール推進事業	公民館
24	公民館改修事業	公民館
25	文化会館等管理運営事業	文化会館
26	文化会館文化芸術事業	文化会館
27	人形劇のまちづくり事業	文化会館
28	竹田人形館管理運営事業	文化会館
29	川本人形美術館管理運営事業	文化会館
30	文化施設整備事業	文化会館
31	図書館管理運営事業	中央図書館
32	図書購入・提供事業	中央図書館
33	こども読書活動推進事業	中央図書館
34	図書館事業	中央図書館
35	美術博物館管理事業	美術博物館
36	美術博物館資料調査研究・収集保管事業	美術博物館
37	美術博物館展示公開事業	美術博物館
38	美術博物館教育普及・活動支援事業	美術博物館
39	美術博物館プラネタリウム運営事業	美術博物館
40	上村山村文化資源保存伝習施設管理運営事業	美術博物館
41	南信濃民芸等関係施設管理運営事業	美術博物館
42	歴史研究所管理事業	歴史研究所
43	歴史研究所事業	歴史研究所
44	考古博物館入館者数（文化財保護事業）	文化財保護活用課
〃	個人貸出状況・団体貸出状況（図書購入・提供事業）	中央図書館
45	展覧会入館者数（美術博物館展示公開事業）	美術博物館
〃	プラネタリウム入館者数（プラネタリウム運営事業）	美術博物館

1 事業概要

事務事業名		小中学校キャリア教育推進事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
			3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等							
事業目的		対象	小中学校児童生徒及び保護者、小中学校教職員、地域、事業所					
		意図	ふるさと飯田とのつながりを知り、誇りや愛着を持つとともに、ふるさと飯田に軸足を置きつつグローバルな視点・素養を持つ人材を育成する。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・飯田学園構想において、児童生徒が地域とのつながりを生かした探究する学びを進める「みらい創造科」へつながるよう、各学園が実施するキャリア教育活動を支援しました。 ・中学生を対象とする次代を担う人材育成として「結いジュニアリーダー育成事業」を実施しました。 ・飯田東中学校のりんご並木における学習活動を支援するとともに、並木サポーターの拡大に向け、ふるさと納税制度を活用するなど、りんご並木に関する情報発信を実施しました。 ・三遠南信地域の中学生学習交流活動を、浜松市と豊橋市との連携のもと実施しました。			キャリア教育学校交付金				1,703			
				みらい創造教育研究委員会講師謝礼				30			
				キャリア教育バス・タクシー借上代				23			
				中学生の社会職場体験学習への支援				28			
				結いジュニアリーダー育成講座事業				40			
				りんご並木育成活動事業費				1,383			
				三遠南信中学生交流会事業費				603			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	みらい創造教育実施校数		校	28	28						
	職場体験を受け入れる事業所数		所	280	221						
	りんご並木アドバイザー委嘱人数		人	3	3						
	三遠南信中学生交流会参加者		人	34	34						
7年度 決算 (千円)	予算額		5,266	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		3,810	(そ) ふるさと寄附金							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	2,065								
	一般財源		1,745								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	3	2	17	1	2,983	1,824	キャリア教育推進事業費
2	1	10	3	2	15	2	1,429	1,383	りんご並木育成活動事業費
3	1	10	3	2	15	3	854	603	三遠南信中学生交流事業費
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		・地域に誇りと愛着を抱き、将来の地域づくりを担い、支える人を育むため、継続的で系統的な「みらい創造教育」を地域や学校等が連携して取り組んでいく必要があります。 ・中学生が学校の枠を超えた交流を行う貴重な機会である「結いジュニアリーダー育成講座」、「三遠南信地域の中学生交流会」については継続して積極的な支援を行っていくことが必要です。							
上記の課題解決のための有効策		・みらい創造教育（キャリア教育）学校交付金の活用を継続し、みらい創造教育の中核に位置付けている「地育力を活用したふるさと学習」を支援します。 ・中学生の交流事業が自分たちが暮らす地域や文化について深く学べる取組となるように支援していきます。							
次年度に向けての取り組み		・各学校の「みらい創造教育」や学園としての連携事業におけるみらい創造教育学校交付金の積極的な活用を促進します。 ・地域や生徒会活動の現状を踏まえながら、自分たちに何ができるか相互に学ぶ学習交流活動として「結いジュニアリーダー育成講座」、「三遠南信地域の中学生交流会」を実施します。							

1 事業概要

事務事業名		地育力向上連携推進事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	R2	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
			3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等		飯田市みらい創造教育推進協議会設置要綱					
事業目的		対象	幼児期から高等教育期までの者、一般					
		意図	地域に誇りや愛着を持つとともに、ふるさと飯田に軸足を置きつつグローバルな視点で地域に貢献できる人材になる。地育力を活用したプログラムを展開する。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・発達段階に応じ地育力を活用して生きる力を育む「みらい創造教育」を推進するため関係機関との連携を進め、みらい創造教育推進フォーラムで実践の成果を共有しました。 ・高等学校の探究学習に地域人材を紹介するなど支援しました。また、高校生意識調査を実施しました。 ・伊那谷の自然と文化を支える人材を発掘・育成するため、トークイベントやY o u T u b e 動画の配信を行いました。また、学輪 I I D A 全体会のポスターセッションに参加し、アドバイスをもらいました。 ・小中学生の保護者を対象とした情報誌H a g u を発行しました。		みらい創造教育推進コーディネーター人件費				4,298				
			みらい創造教育推進フォーラム開催経費				96				
			教育委員会情報誌H a g u の発行				96				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	地域人育成に関わる会議等の開催数		回	14	11						
	高校生を対象とした意識調査回数		回	1	1						
	教育委員会情報誌の発行回数		回	3	1						
	伊那谷の自然と文化人材育成講座参加者数		人	25	45						
7年度 決算 (千円)	予算額		4,928	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		4,490	(そ) ふるさと寄附金							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	600								
	一般財源		3,890								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	1	3	4,306	4,298	会計年度任用職員人件費
2	1	10	5	1	14	1	622	192	地育力向上連携推進事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・ みらい創造教育を推進するために、地域資源を生かすとともに、関係機関との連携を進めていく必要があります。 ・ 伊那谷の自然と文化を支える人材育成は、若年層の興味関心を惹くためのアプローチの方法を検討し、実践した結果を検証していく必要があります。 ・ 教育委員会の情報を直接保護者に届ける方法を工夫して、保護者の教育に関する理解を進める必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・ みらい創造教育に関わる関係機関同士の情報共有が有効です。 ・ 伊那谷の自然と文化を支える人材育成は、外部有識者の知見の活用や学校との連携が有効です。 ・ 保護者が必要としている情報や教育委員会が伝えたい内容を厳選し、紙面以外の情報発信について検討します。						
次年度に向けての取り組み			・ 発達段階ごとの取組をつなぐ切れ目のないみらい創造教育を意識し、関係機関同士の連携と実践事例の共有を進めます。 ・ 伊那谷の自然と文化を支える人材育成に向け、外部有識者や高校における探究学習などとの連携を進めます。 ・ 小中学生の保護者を対象とした紙面以外の情報発信について検討します。						

1 事業概要

事務事業名		平和学習・人権教育推進事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等		非核平和都市宣言					
			人権尊重都市宣言					
			飯田市差別の撤廃と人権の尊重に関する条例					
事業目的		対象	小中学生、高校生及び一般					
		意図	内外の戦争の惨禍の真実から平和について考え次世代に平和の大切さを語り継ぐ。人権尊重意識の高揚と多様性を認め合う社会を築こうとする心を育む。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・ 飯田市平和祈念館展示・活用検討委員会を開催し、幅広く市民の意見をお聞きし、証言の展示のあり方や資料価値の市民への分かりやすい伝え方について整理しました。 ・ 戦後80年の節目の年にあたり、特別展「資料は語る」一見で触れてふり返る戦争の時代ーを行いました。 ・ 満蒙開拓平和記念館自治体パートナー制度へ加入し運営を支援しました。 ・ 地区公民館を中心に人権学習会を開催しました。 ・ 小中学校の平和人権学習を支援するとともに、高校生若者向けのピースゼミでは平和について多面的に捉えながら舞鶴スタディツアーを実施しました。			平和祈念館の案内及び活用のための人件費				2,464			
				平和祈念館展示・活用検討委員会開催経費				30			
				平和祈念館の案内、活用、資料整理ほか				486			
				小中学校での平和学習支援				1,310			
				高校生若者対象の平和・人権・多文化学習支援				583			
				公民館等での人権学習支援				76			
				満蒙開拓平和記念館自治体パートナー制度協力金				250			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	満蒙記念館を活用した平和学習実施校数		校	10	7						
	市平和祈念館を活用した平和学習実施校数		校	3	2						
	市平和祈念館で案内を行った回数		回	50	23						
	人権学習講座数		回	130	202						
	教職員研修の実施回数		回	2	2						
	高校生若者対象平和・人権・多文化学習講座参加者数		人	70	150						
	飯田市平和祈念館展示・活用検討委員会の開催数		回	3	1						
7年度 決算 (千円)	予算額		6,194	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		5,199	(県) 人権教育促進事業補助金（1／2）							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) ピースゼミ参加費							
		県支出金	50								
		地方債	0								
		その他	68								
		一般財源	5,081								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	1	3	2,760	2,464	会計年度任用職員人件費
2	1	10	5	1	10	5	138	76	人権教育推進事業費
3	1	10	5	1	10	6	3,296	2,659	平和学習推進事業費
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・ 戦後80年を迎え、戦争体験者が少なくなる時代を迎えるにあたり、戦争の歴史を風化させることなく平和の大切さを次世代に語り継いでいくため、学校教育及び社会教育の両面で平和教育を進めていく必要があります。 ・ 多文化共生、女性、同和、性的指向などといった、多様な人権を理解するための学習活動に取り組んでいく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・ 飯田市平和祈念館の展示及び活用について、幅広く市民の意見を聞き、展示や活用に反映します。 ・ 若者、高校生、小中学生に対して、平和の大切さを次世代に語り継ぐための学習の機会を提供します。 ・ 公民館を中心として地域に根差した人権講座を開催します。						
次年度に向けての取り組み			・ 飯田市平和祈念館の展示及び活用について、幅広く市民の意見を聞き、より良い祈念館となるように検討します。 ・ 飯田市平和祈念館の案内、小中学校の平和学習支援、ピースゼミを行います。また、各地区や公民館等で人権に関する講座や講演会を開催します。						

1 事業概要

事務事業名		社会教育運営事務			会計	一般会計			
					事業区分	経常		実施区分	継続
					開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画						
	法令・例規等		社会教育法						
事業目的		対象	市民及び社会教育関係団体						
		意図	学習環境を整えることにより、市民及び社会教育関係団体等の主体的、組織的な学習活動が活発に展開される。						

2 事業内容

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・社会教育委員会議を開催し、社会教育の在り方や課題について意見をいただき、関係者で情報共有しました。 ・教育功労者の審査、決定、表彰を行いました。 ・教育委員会への共催又は後援の依頼について審査事務を行い、市民の教育活動を支援し振興を図りました。 ・飯田ユネスコ協会の教育活動を支援しました。 ・愛宕蔵の適正な維持及び管理に努めました。		社会教育委員会議経費				192				
			教育功労者表彰経費				190				
			愛宕蔵の維持・管理費				1,090				
			社会教育事務経費				785				
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	社会教育委員会議の開催数		回	3	3						
	教育功労者表彰受賞者数		件	50	60						
	共催・後援許可数		回	250	236						
	ユネスコ協会活動支援数		回	4	4						
7年度 決算 (千円)	予算額		2,840	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		2,257								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
		一般財源	2,257								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	10	1	2,840	2,257	社会教育一般経費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・ 地域社会の大きな変化や人口減少社会を見据え、持続可能な地域づくりを実現するためには市民一人ひとりの自治意識の高揚が肝要であり、市民の主体的で組織的な学習活動を展開できる環境づくりが必要です。 ・ 時代に合わせた市民の学習活動が、展開されるように支援していく必要があります。 ・ 将来にわたり住民の学びを支えていくため、専門職を継続的に養成していく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・ 第2次教育振興基本計画後期の取組を基本においた社会教育活動を展開します。 ・ 住民の主体的な活動を側面的に支援していくことが有効です。 ・ 有資格者による専門性の高い社会教育の推進体制を充実させます。						
次年度に向けての取り組み			・ 社会教育委員などからの意見や提言をもとに第2次教育振興基本計画後期の取組の推進を図ります。 ・ 教育委員会による共催、後援などを通して、市民の主体的な活動を側面的に支援していきます。 ・ 職員に社会教育主事講習を受講させ、有資格者の増員を図り、地域の学習活動を支援します。						

1 事業概要

令和4年度事務事業実績計画表

1 事業概要

事務事業名		科学実験教室推進事業			課名	生涯学習・スポーツ課	事業No.	251
					会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H11	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
法令・例規等								
事業目的		対象	児童、生徒及び一般					
		意図	科学実験を通して、科学の楽しさや不思議さを学び、興味を持ってもらう。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・南信州飯田おもしろ科学工房の活動を支援し、こどもや市民に科学のおもしろさ、不思議さを体験してもらうため、かざこし子どもの森公園を拠点に理科実験ミュージアムを開催しました。 ・出前工房や小中学校クラブ支援を通じて地域や学校へ取組の輪を広げ、科学に関する興味や関心を高めました。 ・長野高専との連携で工作教室を実施し、参加した小学生が小学生ロボコン大会で全国2位となる成果がありました。			理科実験ミュージアム運営事業補助金				1,050			
			その他の経費				0				
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	理科実験ミュージアム参加者数		人	3,500	5,839						
	地域や学校への出前工房参加者数		人	3,000	3,936						
	小中学校のクラブ支援事業参加者数		人	1,200	1,378						
7年度 決算 (千円)	予算額		1,050	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		1,050								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
		一般財源	1,050								

3 事務事業を構成する予算科目

科学実験教室推進事業費									
番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	10	4	1,050	1,050	科学実験教室推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		・理科実験ミュージアム、出前工房などの参加者が増加しており、そのニーズに対応するためにスタッフの拡充や育成が課題です。 ・事業を持続可能なものとするために、学校、PTA及び地域との連携・協力体制の構築が重要となります。 ・全国大会を目指すきっかけとなるような取組もこどもの探究心を醸成する上で必要です。							
上記の課題解決のための有効策		・スタッフの拡充や育成について、学校、企業等と連携を図りながら、児童、生徒と共に行う理科実験に興味のある人材の発掘を行い、今後のおもしろ科学工房の中核となるような人材育成を支援します。 ・専門的知見を有する者と連携して、こどもの探究心を醸成するための支援をします。							
次年度に向けての取り組み		・スタッフの募集について、学校や企業等へ働きかけを行い、人材の発掘、育成を支援します。 ・ホームページの充実、チラシの配布などにより、学校、PTA及び地域が連携・協力することの必要性を周知します。 ・長野高専などの技術校と連携し、高度な科学に触れる機会を創出します。							

1 事業概要

事務事業名		わが家の結いタイム推進事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等		飯田市わが家の結いタイム推進協議会設置要綱					
事業目的		対象	幼児・小中学校児童生徒のいる家庭、地域					
		意図	家族がともに時間を過ごし、相互に成長することで生きる力を育む。基本的な生活習慣を身に付けるとともに、こどもを育てる家庭の教育力を向上させる。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・家庭教育の推進を図るため、あいさつ、会話、読書、お手伝いの4つの取組を柱においた「わが家の結いタイム」の啓発活動に取り組みました。 ・三行詩コンクールに取り組み、みらい創造教育推進フォーラムで表彰しました。 ・わが家の結いタイム推進協議会で、こどもの体力低下について家庭教育の視点で実践することの必要性について協議しました。 ・パートナー企業認定制度を周知し、企業のワークライフバランス活動とわが家の結いタイムの取組の相乗効果によって働く世代の家族のふれあいが広がるよう取り組みました。		三行詩コンクール等による意識啓発				95				
			その他の経費				0				
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	保・小・中学校・企業への意識啓発回数		回	25	23						
	取組事例集を活用した保育園・学校数		園・校	20	16						
	啓発活動に取り組んでもらえた企業数		社	20	12						
7年度 決算 (千円)	予算額		153	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		95								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
		一般財源	95								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	10	7	153	95	家庭教育推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・わが家の結いタイム4つの柱（あいさつ・会話・お手伝い・読書）について学校・地域・家庭が連携し、その必要性を啓発することが求められます。 ・こどもの体力低下に家庭教育として関われる部分を検討し、実践していくことが必要です。 ・仕事と家庭との調和がとれた生活が送れるよう企業に啓発していくことが必要です。						
上記の課題解決のための有効策			・多様化するライフスタイルに合わせ、柔軟に啓発活動を展開していく必要があります。 ・運動習慣形成の視点を取り入れ、既存の4項目と絡め、その内容を充実させる形で啓発を進めることが有効です。 ・家庭以外の子育て世代へのアプローチとして、企業におけるワークライフバランスの取組との連携が有効です。						
次年度に向けての取り組み			・結いの日や推進月間を通じた啓発活動を柔軟に展開するとともに親しみやすい三行詩コンクールの取組を進めます。 ・運動習慣形成の視点を取り入れ、歩こう動こうプラステンの取組と連携して進めます。 ・パートナー企業認定制度の推進を図り、賛同いただく企業を増やします。						

1 事業概要

令和7年度事務事業実績計画表

1 事業概要

事務事業名		青少年育成事業			課名	生涯学習・スポーツ課	事業No.	253	
					会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
					開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画						
	法令・例規等		飯田市青少年問題協議会条例						
		飯田市青少年育成センター設置要綱							
事業目的		対象	小・中・高校生及びその家庭、地域						
		意図	多様な人との交流や様々な体験を通して健全な心を育む。青少年にとってよりよい社会環境の整備を図り、地域社会全体で健全育成を推進する。						

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・ 今までの伊勢市との小学生交流の歴史や成果を総括し、伊勢市に関する市民の主体的な学びを支援するため、中央図書館での展示紹介や学校等の授業等の支援に取り組みました。 ・ 地域内のこどもたちの交流促進と市全体の子育て意識を育むために、飯田子どもまつりを共催しました。 ・ 青少年育成センターを運営し、青少年を健全に育む環境づくりを進めました。			伊勢市との小学生交流				84			
				飯田子どもまつり共催負担金				150			
				青少年育成センターの運営				18			
			その他の経費				0				
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	青少年健全育成に関する会議の開催数		回	2	0						
	飯田子どもまつり参加者数		人	1,000	1,015						
7年度 決算 (千円)	予算額		428	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		252								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
		一般財源	252								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	2	10	1	274	234	青少年健全育成事業費
2	1	10	5	2	10	2	154	18	青少年育成センター事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・伊勢市との小学生交流は、中央図書館での展示紹介や学校等の授業等の支援に切り替え、必要に応じて継続した学習支援をしていく必要があります。 ・いじめなどがSNS上の大人の目が届きにくい場所で行われ、トラブルに巻き込まれるケースがあります。						
上記の課題解決のための有効策			・伊勢市に関する市民の主体的な学びを支援します。 ・自然体験を始めとする様々な体験機会を市民団体と協働して提供します。 ・青少年を取り巻く現状把握に努め、関係者で情報を共有しながら今後の活動を検討します。						
次年度に向けての取り組み			・中央図書館での展示紹介や学校等の授業等の支援に取り組みます。 ・地域内のこどもたちの交流や親子での体験の機会を提供するために、飯田子どもまつりを共催します。 ・青少年育成センターを運営し、青少年を健全に育む環境づくりに取り組みます。						

1 事業概要

事務事業名		文化・スポーツ活動の体制整備事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	R5	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市スポーツ推進計画					
			学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けた推進計画					
	法令・例規等		社会教育法					
		スポーツ基本法						
事業目的		対象	小中学生、保護者、学校、文化芸術・スポーツ活動団体					
		意図	小中学生が、地域の中で主体的に文化芸術・スポーツ活動ができる環境を、学校・保護者・地域が一体となって整備する。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)				
	・部活動地域移行支援コーディネーターを配置し、推進計画に定める取組を着実に実施しました。 ・部活動指導員や地域指導者の質の向上を図るための研修会を開催しました。 ・地域クラブ活動の担い手となる団体を、公認地域クラブとして認定し、補助金の交付や施設の優先予約制度の導入など活動を支援しました。 ・スポーツや文化活動の体験の機会を提供するため、ゆいスポや各種文化講座を開催しました。			コーディネーター人件費				6,366				
				連携協議会等体制整備の経費				614				
				指導者育成研修会・意識啓発等				750				
				公認地域クラブ活動支援補助金				2,286				
				体験型スポーツスクール・文化講座等の開催				925				
その他の経費				0								
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	連携協議会等の開催数		回	3	3							
	指導者研修会の開催数		回	5	5							
	文化講座等の講座数		講座	30	22							
	スポーツスクール等の講座数		講座	35	47							
	保護者や地域への説明・懇談会の開催数		回	69	65							
	公認地域クラブ数		団体	20	24							
7年度 決算 (千円)	予算額		12,319	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		10,941	(県) 地域スポーツクラブ活動体制整備事業委託金（地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業）（10／10） (そ) 文化系講座参加料								
	財源の 状況	国庫支出金										0
		県支出金										6,005
		地方債										0
		その他										5
		一般財源		4,931								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	1	1	3	6,650	6,366	会計年度任用職員人件費
2	1	10	6	1	11	12	5,669	4,575	文化・スポーツ活動体制整備事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			多くの公認地域クラブが立ち上がり活動を開始していますが、指導者の確保、クラブ運営のあり方、活動場所までの移動手段の確保など課題もあります。生徒が中学校の部活動で活動していたことと同様の活動が展開できるように引き続き体制整備を行っていく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			地域クラブの立ち上げを後押しし、公認地域クラブに認定されるように助言していきます。クラブ指導者を対象としたクラブ運営や指導に関する研修の充実が有効となります。活動場所までの移動手段の確保など公認地域クラブが安心して活動できる環境を整える必要があります。						
次年度に向けての取り組み			公認地域クラブの立ち上げを引き続き支援します。クラブ指導者への研修会の充実、公認地域クラブへ参加するための生徒の移動手段の確保など制度設計を進めます。						

1 事業概要

事務事業名		競技スポーツ振興支援事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画				
				飯田市スポーツ推進計画				
	法令・例規等			スポーツ基本法				
事業目的		対象	市民					
		意図	競技スポーツ団体の活動や指導者育成を支援し、生涯にわたって継続的に競技スポーツに親しむ人口を増やす。全国的に活躍する選手を応援し、競技スポーツへの関心を高める。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・ 飯田市スポーツ協会の運営や各競技団体の活動、指導者の育成を支援し、競技人口の拡大や競技力の向上を推進しました。 ・ スポーツ協会や民間スポーツクラブ等と連携し、各種スポーツ教室の開催やスポーツ観戦など、一流のプレーに触れ交流できる機会を提供しました。 ・ 中央道沿線スポーツ大会の開催や県縦断駅伝競走大会、市町村対抗駅伝等への参加を通じ、競技スポーツへの関心を高めました。 ・ 全国大会に出場する地元選手や団体等に対し、激励金等によりその活躍を応援し、広く市民に広報しました。		飯田市スポーツ協会運営支援				7,500				
			中央道沿線都市親善スポーツ大会				142				
			市町村対抗駅伝競走大会				40				
			長野県縦断駅伝競走大会				80				
			競技スポーツ振興事業				793				
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	指導者養成講座・実践機会の実施回数		回	3	3						
	飯田市スポーツ協会関係事業への参加者数		人	115,000	115,091						
	スポーツ大会等の開催数		大会	14	13						
	飯田市スポーツ協会加盟団体		団体	22	22						
	HP等による情報発信の回数		回	12	10						
7年度 決算 (千円)	予算額		8,640	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		8,555								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
		一般財源	8,555								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	1	11	1	1,140	1,055	スポーツ事業費
2	1	10	6	1	11	7	7,500	7,500	飯田市スポーツ協会運営支援事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		飯田市スポーツ協会との共催で開催したボールゲームフェスタ等、こども達にスポーツへの関心を高めるための取組を継続していますが、競技者の減少傾向や指導者の確保は長年の課題となっており、生涯にわたってスポーツに親しむための環境整備が必要となります。							
上記の課題解決のための有効策		競技人口の拡大やスポーツの楽しさを伝える指導者の育成を進めるために、引き続き飯田市スポーツ協会や各競技団体の活動を支援します。全国レベルで活躍する地元出身選手を激励し、その活動や功績を広く市民に周知することも有効となります。							
次年度に向けての取り組み		競技力の向上、普及、指導者の育成に取り組む飯田市スポーツ協会の運営を支援します。また、関係団体等と連携し競技の観戦や体験会等を実施するとともに、一流のプレーに触れる機会を提供します。全国レベルで活躍する地元出身選手に激励金を交付し選手の意欲を高めるとともに、市公式ウェブサイト等で広く周知し応援者を増やします。							

1 事業概要

事務事業名		市民スポーツ推進事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策		実施区分	継続
					開始			終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市スポーツ推進計画						
	法令・例規等		スポーツ基本法						
			飯田市スポーツ推進委員設置規則						
			飯田市スポーツ推進審議会条例						
事業目的		対象	市民						
		意図	様々なスポーツ機会の提供により、日常生活への運動習慣の定着とスポーツを通じたコミュニティの形成をめざす。運動好きのこどもを育むことで、生涯スポーツの基礎を築く。						

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・スポーツ推進委員と連携して、日常的なウォーキングや多世代が交流できるボッチャをはじめとするニュースポーツの普及に取り組み、市民の運動習慣の定着を目指しました。 ・飯田やまびこマーチを開催し、多くの市民が参加し健康の意識を高めるとともに、県外の参加者も迎え、飯田市を広くPRしました。 ・生涯にわたってスポーツに親しむ基礎を築くために、園児や児童を対象としたコーディネーショントレーニング教室を開催しました。 ・風越山トレイルマラソンは、熊の目撃情報が相次ぐ中で、参加者やスタッフの安全確保を最優先に考え中止しました。			スポーツ推進審議会				30			
				スポーツ推進委員活動				2,021			
				飯田やまびこマーチ開催				2,370			
				風越山トレイルマラソン大会開催				710			
				幼少期の運動能力向上事業				147			
				市民スポーツ推進事業				428			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	スポーツ推進委員の活動回数（全市会議・研修・講習会指導）		回	100	105						
	スポーツ推進審議会開催回数		回	2	1						
	飯田やまびこマーチの参加者数		人	1,500	1,938						
	風越山トレイルマラソン大会の参加者数		人	500	0						
	コーディネーショントレーニング・指導者研修会等開催回数		回	24	24						
7年度 決算 (千円)	予算額		7,159	特定財源内訳及び補足事項 (そ) 全国スポーツ推進委員研究協議会長野大会旅費							
	決算額		5,706								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	9								
		一般財源	5,697								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	1	11	5	3,289	2,626	生涯スポーツ推進事業費
2	1	10	6	1	11	6	2,370	2,370	やまびこマーチ開催事業費
3	1	10	6	1	11	8	1,500	710	風越山トレイルマラソン大会開催事業費
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		各種スポーツ事業を通じた健康づくりやスポーツに親しむきっかけづくりを目指し、各地区のスポーツ推進委員が公民館と連携してコミュニティスポーツを推進しましたが、今後更に運動習慣の定着を目指すために、各世代の状況や志向に合わせた運動やスポーツに関わる機会を提供していく必要があります。風越山トレイルマラソン大会については、熊出没の影響を受け中止としましたが、今後の大会運営の在り方について検証が必要となります。							
		全市や各地区で、ウォーキングやニュースポーツ等誰もが取り組みやすい運動、スポーツの機会を提供します。生涯にわたってスポーツに親しむこどもを育むために、コーディネーショントレーニングを実施するとともに、その効果について検証が必要です。やまびこマーチ等大会実行委員会にて直面する課題に対する議論をより活発化させます。							
次年度に向けて の取り組み		スポーツ推進委員と地域の連携を深めウォーキングやニュースポーツの普及に取り組みます。コーディネーショントレーニング実施施設における担当者研修会を開催し、効果の持続性向上を図ります。風越山トレイルマラソン大会については、参加者及びスタッフの安全確保を第一に考えて開催できるよう検討を進めます。							

1 事業概要

令和7年度事務事業実績計画表

1 事業概要				課名	生涯学習・スポーツ課	事業No.	286
事務事業名				2028国民スポーツ大会開催準備事業	会計	一般会計	
				事業区分	経常	実施区分	新規
				開始	R7	終了	R10
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画				
		○	飯田市スポーツ推進計画				
	法令・例規等		スポーツ基本法				
			スポーツ基本法施行令				
			国民スポーツ大会開催基準要項・開催基準要項細則				
事業目的	対象	飯田市民					
	意図	2028年に開催する国民スポーツ大会の開催運営の準備を進め、市民の競技スポーツへの関心を高める。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・大会開催に向けて県や競技団体との協議を進めたほか、必要物品の確認、経費の積算、実行委員会の立ち上げに向けて準備を行いました。 ・開催に向けて必要な情報等を収集するため、先催県への視察を実施しました。 ・大会が開催されることを周知するため、懸垂幕やのぼり旗を設置しました。			会議出席、先催県視察旅費等				297			
				意識啓発のための広報活動等				8			
	その他の経費				0						
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	準備委員会等の開催		回	2	0						
7年度 決算 (千円)	予算額		421	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		305								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
		一般財源	305								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	1	11	13	421	305	2028国民スポーツ大会運営事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			先催県の開催状況、実施にあたっての各種業務の内容などを確認したことで、イメージと事業量などが見えてきた一方で、当市の執行体制が十分ではないことがより明らかになりました。						
上記の課題解決のための有効策			人員を配置するなど、執行体制の強化を図ります。						
次年度に向けての取り組み			・実行委員会を設立して実施体制を整えとともに、事務局の人員を増やし、執行体制を強化します。 ・2027年度に開催されるリハーサル大会の総合計画などを整備して本格的な準備を進めます。 ・2028年度に開催される本大会の各種計画や要項を整えとともに、機運醸成のための活動を行います。						

1 事業概要

事務事業名		体育施設等維持管理・整備事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	S47	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市スポーツ推進計画					
			飯田市教育委員会施設等総合管理計画					
	法令・例規等		長野県都市公園条例					
			飯田市体育施設条例及び体育施設条例施行規則ほか					
事業目的		対象	社会体育施設（施設数：44）学校開放施設（施設数：56）					
		意図	利用者が安全で良好な施設環境のなかで利用できるよう、施設整備と利便性を考慮した維持管理運営を図ります。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・飯田市教育委員会施設等総合管理計画に基づき、飯田運動公園プールろ過機更新工事（第2期）及びウォーター 슬라이ダーの塗装工事、鼎体育館ほかトイレ改修工事、松尾小学校屋外運動場ほか照明LED化工事など、施設の改築改修を実施しました。 ・安全な利用環境を提供するため、専門業者による施設・設備の保守点検や施設管理人による日常点検を実施しました。 ・グラウンド芝生化については、競技団体と利用実態の確認や周辺町村の整備計画を踏まえ協議・検討を行いました。 ・利用者の利便性の向上や管理運営の効率化を図るため、指定管理者による施設の管理運営を行いました。			体育施設の受付、管理のための人件費				49,036			
				予防保全のための施設改修				73,207			
				環境改善のための施設改修				175,790			
				屋外運動場の夜間照明LED化整備				217,030			
				公共予約システムの管理運用経費				2,112			
				指定管理料				45,280			
				社会体育施設の維持管理経費				90,359			
				社会体育学校開放施設の維持管理経費				10,916			
その他の経費				22,281							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	社会体育施設年間利用者数		人	430,000	443,190						
	学校開放体育施設年間利用者数		人	340,000	402,914						
	勤労青少年ホーム年間利用者数		人	3,000	4,038						
	予防保全のための施設改修		件	2	3						
	環境改善のための施設改修		件	16	19						
7年度 決算 (千円)	予算額		764,942	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		686,011	(国)地域脱炭素移行・再エネ推進交付金、（県）飯田運動公園管理委託金、（地）公共施設等適正管理推進（充当率90%）67,500千円、緊急防災・減災（充当率100%）118,300千円、脱炭素化推進（充当率90%）55,300千円、一般補助施設整備等（充当率75%）50,100千円、（そ）広域的体育施設使用料6,858千円、地区体育施設使用料680千円、飯田運動公園使用料3,375千円、社会体育学校開放施設使用料56千円、雑入5,298千円、繰越金2,276千円、6→7繰越明許2,276千円、7→8繰越明許49,118千円							
	財源の 状況	国庫支出金	133,641								
		県支出金	19,140								
		地方債	291,200								
		その他	18,543								
	一般財源	223,487									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	2	1	3	55,635	49,036	会計年度任用職員人件費
2	1	10	6	2	10	1	139,983	137,091	体育施設管理費
3	1	10	6	2	11	3	272,215	208,995	体育施設改修費
4	1	10	6	3	10	1	15,239	11,576	社会体育学校開放管理費
5	1	10	6	3	11	2	281,870	279,313	社会体育学校開放施設整備費
6									
7									
振返り課題認識			施設等の老朽化に伴い、安全安心な利用環境を提供するため、日常的な施設点検と維持管理が必要です。学校再編の動向を注視しつつ、教育委員会施設等総合管理計画に基づく施設整備を進めるとともに、災害時の応急避難施設としての役割と施設の長寿命化を踏まえて、必要な改修を計画的に実施していく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			施設管理人による日常点検や専門業者による定期保守点検により、施設の維持管理と不具合箇所の把握を行います。地方債等をはじめとするさまざまな財源を活用し計画的に改修を進めます。限られた予算の中で緊急性と必要性を考慮し、利用者の安全性を最優先に施設の維持管理に取り組みます。						
次年度に向けての取り組み			教育委員会施設等総合管理計画等に基づき、運動公園プールのろ過機更新工事（第3期）等を計画的に進め、施設の長寿命化と環境改善を進めます。オンライン予約システムの利用促進を図るとともに、次期システムの導入検討を進め、利便性のさらなる向上に取り組みます。グラウンドの芝生化については、引き続き関係者と協議を進めます。						

1 事業概要

事務事業名		文化財保護事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策		実施区分	継続
					開始			終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画						
			名勝天龍峡保存管理計画						
			考古博物館活用基本方針						
	法令・例規等		文化財保護法、長野県文化財保護条例						
			飯田市文化財保護条例・同施行規則、飯田市文化財保護事業補助金交付要綱、文化財関連施設の設置条例・規則						
		飯田市美術博物館条例・同施行規則							
事業目的		対象	地域資源（自然・文化・歴史）、指定文化財（遠山の霜月祭・名勝天龍峡等）、文化財関連施設						
		意図	地域を特徴づける自然・歴史・文化資源を文化財に指定し、良好な状況で保ち後世に伝えとともに、活用することで、地域づくり・人づくりにつなげます。						

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・旧瀧澤医院の外壁漆喰修繕、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた霜月祭保存会の活動に対し支援しました。 ・旧小笠原家書院、資料館及び北田遺跡公園に加え、旧飯田測候所を指定管理としています。 ・歴史民俗資料館の上郷小学校内への機能移転に向け、展示収蔵品の整理を行いました。 ・文化財関連施設の維持管理について、随時必要な修繕を実施し、適切に管理しました。 ・名勝天龍峡のパンフレットを加筆更新しました。 ・考古博物館での各種ワークショップの開催を通じて地域の文化財が持つ価値を伝えることができました。			文化財資産化事業経費				100			
				名勝天龍峡活用事業経費				539			
				旧小笠原家書院・小笠原資料館指定管理料				3,286			
				北田遺跡公園指定管理料				370			
				旧飯田測候所指定管理料				3,558			
				指定文化財・文化財関連施設等管理運営経費				11,904			
				所有者等が行う保護事業及び後継者育成に対する補助金				1,110			
				考古博物館管理運営経費				11,173			
				会計年度任用職員				3,259			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	指定等文化財の数		件	192	192						
	名勝天龍峡に関わる学習会等の開催数		回	5	2						
	指定文化財の学習会等の開催数		回	2	4						
	指定文化財や文化財施設等の情報発信数		回	85	74						
	遠山の霜月祭に関する学習会や支援回数		回	5	5						
	地域における文化財や関連施設の活用数		回	38	58						
	旧小笠原家書院・小笠原資料館入館者数		人	2,000	1,433						
北田遺跡公園を活用した地域イベントへの参加人数		人	1,100	900							
7年度 決算 (千円)	予算額		37,486	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		35,299	(そ) 考古博物館観覧料等226千円、（そ）諸収入47千円、（そ）ふるさと寄附金1,800千円、（そ）ふるさと基金繰入金1,000千円、（そ）繰越金253千円 6→7 繰越明許費 253千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	3,326								
		一般財源	31,973								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	10	1	21,455	19,757	文化財管理事業費
2	1	10	5	3	10	3	1,110	1,110	文化財保護事業補助金
3	1	10	5	6	12	1	11,609	11,173	考古博物館管理運営事業費
4	1	10	5	3	1	3	3,312	3,259	会計年度任用職員人件費
5									
6									
7									
振返り課題認識			・ 地域に埋もれた歴史資産を保存継承するために、文化財指定に向けた取組を進める必要があります。 ・ 文化財関連施設が将来的に保存活用されるよう、適切に維持管理していく必要があります。 ・ 考古博物館の展示や事業の中で、地域の文化財についてもっと伝えていく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・ 未指定の文化財について調査し、その価値等について整理を進めていきます。 ・ 文化財関連施設の現状を把握し、計画的な施設整備を進めていきます。 ・ 展示や事業内容について、市民に分かりやすく伝わるような工夫を検討します。						
次年度に向けての取り組み			・ 未指定の民俗文化財の価値を整理し、条件が整ったものを文化財審議委員会へ諮り、指定に向けて取り組みます。 ・ 施設等の現状を調査し、長期的な施設整備の計画を作成して必要に応じた措置を講じます。 ・ 展示や事業内での解説等を改善し、観覧者（参加者）各自が地域を意識できる内容を検討します。						

1 事業概要

事務事業名		埋蔵文化財調査事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			考古博物館活用基本方針					
	法令・例規等		文化財保護法					
			飯田市埋蔵文化財事前調査取扱要綱					
事業目的		対象	埋蔵文化財包蔵地					
		意図	国・県・市・個人及び民間事業者の土木工事等において、適切な保護措置を講じます。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	文化財保護法第93・94条に基づく埋蔵文化財発掘(試掘)調査を以下のとおり行いました。 ・ 民間開発の試掘 11件(田圃遺跡 山本大明神原遺跡 方角東遺跡 長野原遺跡 宮の先遺跡 三尋石南遺跡 北方大原遺跡 山口遺跡 北並木遺跡 上山遺跡 上溝羽場遺跡) ・ 市事業の試掘 2件(下の城城跡 的場遺跡) ・ 県事業の試掘 4件(三尋石遺跡 下井戸遺跡 名古屋山遺跡 八幡町遺跡、八幡下遺跡) ・ リニア関連事業の発掘 1件(ママ下遺跡) ・ 補助事業で実施した調査報告書 1件(市内緊急調査)			個人住宅建設・民間開発に係る調査経費				3,449			
				県事業に係る調査経費				0			
				市事業に係る調査経費				8,660			
				会計年度任用職員人件費				20,384			
その他の経費				0							
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	埋蔵文化財包蔵地の相談・照会件数		件	340	494						
	文化財保護法に基づく届出等件数		件	280	273						
	保護措置(立会調査)実施件数		件	200	111						
	記録保存された埋蔵文化財包蔵地		件	10	17						
	発掘調査報告書の累計数		件	320	320						
	保護措置が円滑に行われなかった数		件	0	0						
7年度 決算 (千円)	予算額		34,919	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		32,493	(国) 国宝重要文化財等保存・活用事業補助金(1 / 2)							
	財源の 状況	国庫支出金	2,525	(そ) 埋蔵文化財調査受託事業費収入(市受託)							
		県支出金	0	6 → 7 繰越明許費 12,850千円							
		地方債	0								
		その他	15,850								
		一般財源	14,118								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	11	1	3,857	3,449	埋蔵文化財調査事業費（補助）
2	1	10	5	3	12	1	5,273	4,479	埋蔵文化財調査事業費（単独）
3	1	10	5	3	13	2	0	0	埋蔵文化財調査事業費（県）
4	1	10	5	3	13	3	4,487	4,181	埋蔵文化財調査事業費（その他）
5	1	10	5	3	1	3	21,302	20,384	会計年度任用職員人件費
6									
7									
振返り課題認識			・ リニア関連事業が継続中であり、埋蔵文化財を適切に保護するための多岐にわたる調整事案が増えています。 ・ 年間を通じて埋蔵文化財包蔵地における開発行為は多く、埋蔵文化財保護の啓発を続けていく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・ リニア関連事業については、県主導の元に関係機関との調整会議を随時開催して各種情報を共有します。 ・ 関係機関への周知とともに、市民の関心が高い発掘調査の展示等を通じて埋蔵文化財保護について啓発します。						
次年度に向けての取り組み			・ リニア関連事業は、市、県及びＪＲ東海と保護協議を随時行い、保護措置に漏れがないようにします。 ・ 市ウェブサイトでの周知、窓口や電話での対応の中で保護の徹底を図るとともに、発掘調査の現地見学会や博物館での速報展示等を開催して埋蔵文化財保護の啓発を進めます。						

1 事業概要

事務事業名		飯田古墳群保存活用事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H20	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			史跡飯田古墳群保存活用計画					
			考古博物館活用基本方針					
	法令・例規等		文化財保護法					
			長野県文化財保護条例					
			飯田市文化財保護条例・同施行規則					
事業目的		対象	国史跡指定された古墳等、保存活用すべきとした古墳					
		意図	全国に誇れる地域資産として後世に伝えていくとともに、活用することで、地域づくり・人づくりにつなげます。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・御猿堂古墳（竜丘）の範囲確認調査を実施し、その成果を地区の文化祭や市民大学講座で発表しました。 ・座光寺小、阿智第一小の古墳学習を支援しました。 ・地域や保存団体と連携し、高岡第1号古墳、大塚古墳、塚原二子塚古墳、馬背塚古墳等の環境整備を行いました。 ・茶柄山古墳（松尾）より出土した鉄製品の保存処理を行い、その価値を高めました。 ・安全管理や将来的な修復整備、活用のために高岡第1号古墳石室の3D計測を実施しました。 ・広報いいだ（12・1・2月号）で出土遺物の紹介を掲載し、その価値や魅力を伝えました。			発掘調査に係る経費				823			
				会計年度任用職員				1,177			
				保存活用に関する経費				1,288			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	範囲確認調査報告書に記載する古墳の数		基	1	1						
	地域との連携による保護活動等の実施		回	10	5						
	市内外への情報発信		回	10	24						
	観光部局と連携した活用の取り組み		回	2	1						
	学習会活動支援回数		回	12	19						
7年度 決算 (千円)	予算額		3,643	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		3,288	(国) 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（1／2）							
	財源の 状況	国庫支出金	1,000								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
	一般財源		2,288								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	11	3	826	823	飯田古墳群保存活用事業費
2	1	10	5	3	12	1	1,640	1,288	埋蔵文化財調査事業費（単独）
3	1	10	5	3	1	3	1,177	1,177	会計年度任用職員人件費
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・国史跡飯田古墳群（御猿堂古墳）について、史跡の追加指定に向けて取組を進める必要があります。 ・飯田古墳群の出土遺物について、価値を明らかにし、文化財指定に向けた取組を進める必要があります。 ・飯田古墳群を適切に保存管理するための取組や、価値や魅力を伝える取組を継続的に進める必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・御猿堂古墳範囲確認調査の成果について、文化庁からの指示に基づく整理を行い、資料を作成します。 ・関係機関からの指導に基づき整理を進めていきます。 ・古墳に付随する石室管理の検討、飯田古墳群が周知されるような事業展開の検討を進めます。						
次年度に向けての取り組み			・R 6, 7 年度実施の範囲確認調査について整理作業を行い、調査報告書を作成します。 ・文化庁からの指導を受けながら、出土遺物の情報を整理します。 ・石室計測の計画作成、飯田古墳群に関連する博物館事業（展示解説、勾玉づくり等）を行います。						

1 事業概要

事務事業名		恒川遺跡群保存活用事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H13	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画				
				史跡恒川官衙遺跡保存活用計画・史跡恒川官衙遺跡整備基本計画				
				考古博物館活用基本方針				
	法令・例規等			文化財保護法				
				長野県文化財保護条例				
				飯田市文化財保護条例・同施行規則				
事業目的		対象	国史跡指定地を含む恒川遺跡群					
		意図	恒川遺跡群の実態解明に向け調査・研究を進めるとともに、学習交流の拠点となる史跡公園を整備し、適切に保存活用を行うことで地域づくり・人づくりにつなげます。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・ 史跡の歴史的な価値を分かりやすく紹介する展示を、史跡専門委員会、地域と構成する整備推進会議を経て、制作しました。 ・ 地域と連携してガイダンス施設（ごんが歴史交流館）の事業、運営管理等の仕組みづくりを行いました。 ・ 復元建物（正倉）の整備に向け、奈良文化財研究所より助言指導を得て文化庁協議を行い、補足の確認調査を実施しました。 ・ 座光寺地域での史跡や公園への理解と関心が高まるように先進事例視察（弥勒寺官衙遺跡）を行いました。 ・ ごんが史跡公園管理地の維持管理を適切に実施しました。			恒川官衙遺跡専門委員会等経費				102			
				史跡公園整備費（需用費、委託料、工事費）				115,739			
				史跡整備に伴う発掘調査経費				468			
				開発に伴う発掘調査経費（恒川遺跡群）				0			
				史跡公園事業用地管理経費				2,279			
				会計年度任用職員				6,729			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	整備進捗率累計（整備面積A＝2.22h a）		%	20.1	20.1						
	整備・管理等における地域との協働回数		件	10	11						
	史跡公園事業地の発掘調査進捗率		%	100	100						
	情報発信回数		回	24	20						
	史跡・発掘調査見学者数		人	160	270						
	学習支援回数		回	5	6						
	専門委員会の開催数		回	2	1						
7年度 決算 (千円)	予算額		131,069	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		125,317	(国) 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（1／2）							
	財源の 状況	国庫支出金	48,029	(県) 文化財保護事業補助金（3／100、上限500千円）（県随伴補助）							
		県支出金	500	(地) 一般補助施設整備等（充当率90％）18,800千円							
		地方債	32,400	(地) 脱炭素化推進（充当率90％）5,200千円							
		その他	0	(地) 地方道路等整備（充当率90％）8,400千円							
		一般財源	44,388								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	14	1	92,528	92,013	恒川遺跡群保存活用事業費（補助）
2	1	10	5	3	14	2	29,727	26,575	恒川遺跡群保存活用事業費（単独）
3	1	10	5	3	1	3	8,814	6,729	会計年度任用職員人件費
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・ ごんが歴史交流館開館に向け、地域と管理人や地域ガイドの育成に取り組み、施設が円滑に運営管理されるよう準備を進めていく必要があります。 ・ 正倉院エリアの整備（復元建物含む）について、文化庁協議により、現地の再発掘調査が必要となりました。 ・ 恒川官衙遺跡及び公園整備を多くの方々に知ってもらえるよう、史跡の価値や魅力の発信を強化する必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・ 管理人や地域ガイドの育成事業を検討し、取り組みます。 ・ 早急に再発掘調査を実施し、文化庁調査官による現地視察に備えます。 ・ 恒川官衙遺跡の価値や魅力を広く伝えるため、ガイダンス施設での活用や公園整備を進めていきます。						
次年度に向けての取り組み			・ 地域と連携して人材育成に向けた学習会（研修）を開催し、公園の運営管理体制を構築します。 ・ 正倉院エリアの再発掘調査の実施及び報告書を作成し、当エリアの整備方針を再整理します。 ・ 発掘調査の現地見学会や遺跡に関する学習会等を開催し、史跡の価値や魅力を伝えます。						

1 事業概要

事務事業名		公民館維持管理事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
					開始	S29	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			飯田市公共施設等総合管理計画					
			飯田市教育委員会施設等総合管理計画					
	法令・例規等		社会教育法					
			飯田市公民館条例					
			建築基準法、消防法等の施設保全上の関係法令					
事業目的		対象	公民館施設及びその利用者					
		意図	施設の適正な維持管理により、市民へ安全安心で快適な学習環境を提供して社会教育の振興に努める					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容		経費の内容						事業費(千円)		
	・ 公民館利用者が、安全安心な環境で社会教育活動に取り組めるよう、施設及び設備の法定検査等を行い、適切な維持管理に努めました。 ・ 公民館利用者の利便性向上のため、施設予約システムの利用促進に努めました。		光熱水費、燃料費						45,651		
			通信運搬費						4,145		
			修繕料						8,244		
			施設設備保守委託料等						54,926		
			施設敷地借地料						10,364		
			施設設備等借上料						36,000		
			共用管理負担金						7,224		
			施設改修工事費						3,058		
			会計年度任用職員						42,195		
			劣化状況調査業務委託料						3,010		
その他の経費						10,444					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	公民館利用回数		回	33,000	37,083						
	公民館利用者数		人	600,000	579,572						
7年度 決算 (千円)	予算額		243,965	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		225,261	(地) 公共施設等適正管理推進（充当率90%）							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 公共物等占用料 78千円							
		県支出金	0	(そ) 飯田市公民館使用料 1,214千円							
		地方債	2,100	(そ) 地区公民館使用料 6,100千円							
		その他	11,526	(そ) 諸収入 1,124千円							
		一般財源	211,635	(そ) 繰越金 3,010千円 6→7 繰越明許費 3,010千円							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	10	1	198,508	183,066	公民館管理・運営費
2	1	10	5	4	1	3	45,457	42,195	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			・ 令和4年度に飯田市公民館がムトスぶらざへ移転し4年が経過していますが、引き続き利用者層やニーズの変化、利用者目線を大切にした対応が重要です。 ・ 各地区公民館施設の老朽化が進行する中、利用者の安全安心、快適な環境を確保するため、適正な維持管理を実施していく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			施設利用の状況、利用者の要望把握に努め、法定検査や日常点検の強化等により、施設の安全確保、環境維持へ、適正かつ迅速に対応していくことが重要となります。						
次年度に向けての取り組み			・ 施設の利用状況や利用者からの要望を把握し、利便性の向上へ引き続き取り組みます。 ・ 社会教育活動に支障をきたすことがないよう、法定検査、日常点検を通じた施設の維持管理を行います。						

1 事業概要

事務事業名		乳幼児親子学習交流支援事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市こども若者まんなかプラン					
			飯田市の公民館活動基本方針					
	法令・例規等		社会教育法					
			飯田市公民館条例					
事業目的		対象	3歳までのこどもとその保護者					
		意図	発達段階に応じた様々な活動の経験を通して、生きる力の基礎を獲得する。子育ての情報や知識を得たり悩みを共有するとともに、保護者同士の地域内のつながりができる。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・各地区において保健師や保育士などと連携し、3歳までのこどもと保護者を対象に乳幼児学級を開催し、子育てに関する悩みの相談、情報の交換や必要な知識を学ぶ機会、さらには保護者同士の交流、地域住民の方々を講師に迎えるなどの学級内容を組立て実施しました。 ・普段平日の昼間に開催する乳幼児学級への参加が難しい家族（特に父親）も含めた交流の機会として、ファミリーデー等を開催しました。			乳幼児学級の開催				1,150			
			その他の経費				0				
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	学級・講座の開催回数		回	450	455						
	学級・講座に参加した親子の延べ人数		人	7,500	5,939						
7年度 決算 (千円)	予算額		1,256	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		1,150								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
		一般財源	1,150								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	1,256	1,150	公民館事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			地域の中での子育てを具体的にイメージしていくために乳幼児学級の取組は有効であり、子育ての情報、知識や悩みを共有するとともに、保護者同士の地域内のつながりを創出できる学級講座として取り組むことが重要です。						
上記の課題解決のための有効策			各地区で継続的なつながりを育むことができるよう、子育ての情報や知識を得る講座内容に加えて、引き続き、地域住民を講師に迎え交流の機会を促進すること、また地域資源に触れ、地域の魅力を知るきっかけとなるよう講座を組み立てる必要があります。						
次年度に向けての取り組み			こどもの発達段階に応じた学びや遊びなどの知識を得る機会と同時に、各地区の特色を生かした内容の充実と地区内で同世代の子を持つ保護者同士の交流が深められる場を提供していきます。						

1 事業概要

事務事業名		多様な学習交流支援事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
			2	人がつながり助け合い、社会基盤を強化して安全・安心なまちをつくる				
			3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市の公民館活動基本方針					
	法令・例規等		社会教育法					
		飯田市公民館条例						
事業目的		対象	各地区住民、全市民					
		意図	地区の特色を生かした多様で主体的な学びを通して、地域の自治を担う人材の育成を目指す					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容		経費の内容						事業費(千円)		
	・「楽しそう！面白そう！」を入口に、日常生活の中に「みんなの楽しい」を生み出すことで、住民同士の良好な関係性を育み、暮らしを営む場（地域）をみんなで考えあい、未来へ紡いでいけるよう、多様な学習活動及び交流活動を支援しました。 ・各公民館の専門委員会による主体的な文化事業、体育事業、広報事業などの活動を支援しました。 ・二十歳の集いでは、前年度の実行委員、中高生ボランティアが式典等に参画する場を創出し、終了後も該当者が地域の活動に関わり続けられるよう支援しました。		多様な学習交流支援						3,609		
			芸術文化学習交流支援						773		
			郷土（地区）を学ぶ活動支援						696		
			健康学習交流支援						163		
			環境学習交流支援						149		
			人権平和・多文化学習交流支援						940		
			二十歳（はたち）の集い補助金						1,999		
			会計年度任用職員						2,966		
その他の経費						0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	講座等開催数		回	1,400	1,504						
	講座等延べ参加者人数		人	65,000	75,710						
	専門委員・実行委員等の人数		人	870	907						
7年度 決算 (千円)	予算額		13,121	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		11,295	(そ) 自治体国際化協会助成金							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	783								
		一般財源	10,512								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	10,038	8,329	公民館事業費
2	1	10	5	4	1	3	3,083	2,966	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			地域住民とともに誇りと愛着を持って住み続けられる地域やそれを担う人づくりを目的に、地域に着目しその価値や魅力に触れる学習活動や、住民同士のつながり、共感を大切に学習活動など、地域の特色を生かした住民主体の多様な学習と交流活動の輪を拡げていくことが求められています。						
上記の課題解決のための有効策			地域に暮らす人々の願いや想いが地域住民全体に波及し、地域が動いていくために住民主体の深化や次世代へつないでいくことが求められています。多様な参加を促し、一人ひとりが地域活動に自分らしい関わり方ができるよう「たのしい」をきっかけとしながら、世代を問わずつながりが持てる公民館活動を実施していく必要があります。						
次年度に向けての取り組み			地域住民の知恵・アイデア等の声を基に、ワクワクする体験や居心地の良い場所（楽しい）を自分達で創り出す、「みんなの声」から始まることで、自分たちの地域や暮らしを「もっとこうしたい」という願いが生まれ、「たのしい」という価値観からみんなが自然と集まり、そして関わりたくなる公民館活動を実施していきます。						

1 事業概要

事務事業名		高校生等次世代育成事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H24	終了	R99
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
			3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市の公民館活動基本方針					
	法令・例規等		社会教育法					
		飯田市公民館条例						
事業目的		対象	全市民（高校生～青壮年層）					
		意図	地域を知り様々な自治活動を支える人々に学ぶ取組を通して、地域への愛着と誇りを持つとともに、自身の生き方を考え主体的に行動できるようになる。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容		経費の内容						事業費(千円)		
	地域に心根を置きながら、広い視野で自身や地域を捉え行動できる人材を育むため、以下の事業に取り組みました。 ・ふるさとへの理解を深め、自身や地域のこれからの在り方を考える高校生等次世代育成講座(現地学習：東北、カンボジア)を実施しました。 ・ムトスぶらざにおいて、高校生を対象に気軽に相談できる窓口を設置し、新たな居場所として機能しました。また、対話を軸においた場づくりを進め、願いや想いを仲間と共有することで、協力しながら実現する創発活動を支援しました。 ・飯田O I D E長姫高校の地域人教育など、高校生の探究学習において、地域に学ぶ実践的な学習を支援しました。		高校生等次世代育成講座						5,435		
			ムトスぶらざにおける学習交流・創発活動						2,406		
			高校等における探究学習支援						60		
			その他の経費						0		
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	高校生講座に参加した生徒数		人	20	25						
	高校生講座の回数		回	50	54						
	ムトスぶらざふらっと会議参加者数		人	200	161						
	ムトスぶらざでの学習交流活動参加者数		人	300	477						
7年度 決算 (千円)	予算額		9,130	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		7,901								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
		一般財源	7,901								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	9,130	7,901	公民館事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			多くの高校生が卒業後に進学や就職等で地域を離れる状況にあり、地域の将来を担う高校生をはじめ、次代を担う高校生や若者を対象とした学習交流活動を促進し、地域を担う人材を育む重要性が高まっています。						
上記の課題解決のための有効策			高校生や若者を対象とした、地域づくりの実践者などとの学習交流や自身の願いや想いを仲間との学びを通じて実現する創発活動の支援などを通じて、引き続き、地域に心根を置きながら主体的に考え行動できる人材を育む必要があります。						
次年度に向けての取り組み			次代を担う高校生等にとって、各事業の中で、地域の魅力的な大人に出会い、自身の経験や地域の好きなところを直接対話できる環境を生み出すことで、自分たちの足元である暮らしの場に興味関心を持ち、主体的に関わってみたいと思う気持ちを醸成する事業を展開します。						

1 事業概要

事務事業名		飯田コミュニティスクール推進事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H29	終了	R99
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市の公民館活動基本方針					
	法令・例規等		飯田市学校運営協議会規則					
		社会教育法						
		飯田市公民館条例						
事業目的		対象	小中学校、各地区住民、各家庭					
		意図	学校、家庭、地域などで「めざすこども像」を共有し、連携協働することにより、地域全体でこどもを育む。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・各地区において、こどもや保護者を対象に、地域の自然、歴史、文化など地域の価値や魅力に触れる機会として、地域資源を活用した体験教室や長期休暇の寺子屋事業を実施しました。 ・地域全体でこどもを育むため、小中学校と協議しながら、地域や学校の特色を生かした「いいだCS協働活動」(地域学校協働活動)を実施しました。 ・中学校と連携し、中学生が地域活動に積極的に参加するボランティア活動を支援しました。		親子学習交流(家庭教育)活動				753				
			いいだCS協働活動(地域学校協働活動)推進事業				439				
			コミュニティスクールボランティア保険				261				
			その他の経費				0				
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	小中学校の学校運営協議会の開催回数		回	70	44						
	学校支援ボランティアの登録数		人	800	746						
	いいだCS協働活動推進事業の取組件数		件	35	49						
	家庭教育の開催件数		件	650	397						
	家庭教育に参加した延べ人数		人	11,000	6,795						
7年度 決算 (千円)	予算額		1,910	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		1,453	(そ)自治体国際化協会助成金 3千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ)ふるさと寄附金 1,450千円							
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	1,453								
		一般財源	0								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	10	1,910	1,453	飯田コミュニティスクール推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		少子化、核家族化等の社会情勢や家庭環境が変化する中、地域全体でこどもの学びや育ちを支える取組の重要性が高まっています。							
上記の課題解決のための有効策		こども達の学びや育ちを支えるため、生活してる場(地域)を学びの場として、地域住民の方々が講師等で関わる機会を創出していく取組が必要です。							
次年度に向けての取り組み		各地域の特色を生かした学習の場の提供、加えてこどもとその保護者を対象に地域資源を活用した講座等を実施し、地域と家庭及び学校の連携を深めていきます。							

1 事業概要

事務事業名		公民館改修事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
					開始	S29	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			飯田市公共施設等総合管理計画					
			飯田市教育委員会施設等総合管理計画					
	法令・例規等		社会教育法					
			飯田市公民館条例					
			建築基準法、消防法等の施設保全上の関係法令					
事業目的		対象	公民館施設及びその利用者					
		意図	施設の適正な維持管理や改修により、安全安心で快適な学習環境を提供し社会教育の振興に努める。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	教育委員会施設等総合管理計画に基づき、松尾・山本公民館の屋根及び外壁塗装改修、伊賀良公民館の空調設備更新、鼎文化センターの非常照明改修を実施し、施設の機能維持及び利用者の利便性向上を図りました。			施設改修工事費				90,958			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	改修実施箇所数		件	3	4						
7年度 決算 (千円)	予算額		96,576	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		90,958	(地) 公共施設等適正管理推進（充当率90％） 59,400千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(地) 脱炭素化推進（充当率90％） 17,900千円							
		県支出金	0								
		地方債	77,300								
		その他	0								
		一般財源	13,658								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	12	2	96,576	90,958	公民館改修事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			教育委員会施設等総合管理計画に基づき、屋根及び外壁の改修、空調設備更新等を行いました。施設の老朽化が進行する中、引き続き各施設の状況を把握し、計画的に改修を進めていく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			教育委員会施設等総合管理計画に基づく改修を進めつつ、各施設の劣化状況等を的確に把握していくことが重要です。						
次年度に向けての取り組み			令和8年3月に改訂した教育委員会施設等総合管理計画に基づき計画的な改修を実施します。						

1 事業概要

事務事業名		文化会館等管理運営事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
					開始	S47	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等		飯田文化会館条例					
事業目的		対象	市民					
		意図	新しい文化会館の開館まで、既存の施設・設備を安全、安心、快適な環境で利用できるようにする。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容		経費の内容						事業費(千円)		
	・ 飯田文化会館を安全、安心、快適に使用できるよう、日常的に維持管理、点検を実施しました。 ・ 老朽化した施設・設備の更新や修繕を適時適切に実施しました。 ・ 飯田文化会館、人形劇場、鼎文化センターの3つのホールを円滑に利用できるよう舞台技術者に管理運営を委託しました。		文化会館管理費						46,468		
			ホール業務等委託費						27,435		
			文化会館施設整備事業費						57,519		
			会計年度任用職員						6,874		
その他の経費						0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	老朽化改善に係る更新及び修繕		方所	5	13						
7年度 決算 (千円)	予算額		140,245	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		138,296	(地) 公共施設等適正管理推進(充当率90%)							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 公共物占用料 179千円							
		県支出金	0	(そ) 文化会館使用料 13,865千円							
		地方債	32,700	(そ) 諸収入 1,127千円							
		その他	15,171								
		一般財源	90,425								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	10	1	48,147	46,468	文化会館管理費
2	1	10	5	7	10	2	27,436	27,435	ホール業務等委託事業費
3	1	10	5	7	10	3	57,562	57,519	文化会館施設整備事業費
4	1	10	5	7	1	3	7,100	6,874	会計年度任用職員人件費
5									
6									
7									
振返り課題認識			飯田文化会館は築50年以上を経過し、施設・設備の老朽化、陳腐化、耐震性、バリアフリー等の課題を抱えています。						
上記の課題解決のための有効策			市民が安心して飯田文化会館を使用できるよう、優先度の高い箇所から修繕を進めると同時に、現施設の長寿命化を図ります。						
次年度に向けての取り組み			施設・設備を日常的に点検し、飯田文化会館長寿命化事業との整合性を図りながら、早期改善が求められる箇所から修繕を実施します。						

1 事業概要

事務事業名		文化会館文化芸術事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H21	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市文化芸術振興基本方針					
	法令・例規等		文化芸術振興基本法					
			音楽文化の振興のための学習環境の整備等に関する法律					
			文化芸術推進基本計画					
事業目的		対象	市民、文化芸術の普及・振興を担う人材					
		意図	文化芸術の振興を図ることによって、市民が心豊かな生活を送るための一助とする					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・ 舞台芸術鑑賞事業は、1960～70年代を懐かしむ世代と、現代の若者にも親しんでもらうために、シリーズ最終回となる「飯田フォークフェスタ」と、優れた演奏力と歌唱力を持つ「スターダストレビュー飯田公演」を開催しました。 ・ オーケストラと友に音楽祭の将来ビジョン実現に向け、安定した運営を継続するため、企業や個人からの協賛を募る広報活動を行いました。 ・ 小中学生が舞台芸術を直接鑑賞できるように、主体となる学校を支援しました。 ・ 伊那谷文化芸術祭を飯田文化協会と共催することにより、市民主体の活動を支援しました。			舞台芸術鑑賞事業				1,615			
				市民舞台芸術創造支援事業				850			
				オーケストラと友に音楽祭開催事業				10,000			
				小中学生芸術鑑賞事業				507			
				会計年度任用職員				4,581			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	オーケストラと友に音楽祭参加者数		人	5,200	5,797						
	伊那谷文化芸術祭参加者数(出演・鑑賞)		人	7,000	4,400						
	舞台芸術創造支援事業参加団体・学校数		団体・校	70	20						
	舞台芸術鑑賞事業数		事業	4	4						
	小中学生芸術鑑賞事業数		校	15	11						
7年度 決算 (千円)	予算額		21,467	特定財源内訳及び補足事項 (そ)ふるさと基金繰入金							
	決算額		17,553								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	12,972								
	一般財源		4,581								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	11	3	4,115	1,615	舞台芸術鑑賞事業費
2	1	10	5	7	11	5	1,007	850	市民舞台芸術創造支援事業費
3	1	10	5	7	11	7	11,000	10,000	オーケストラと友に音楽祭開催事業費
4	1	10	5	7	11	9	764	507	小中学生芸術鑑賞事業費
5	1	10	5	7	1	3	4,581	4,581	会計年度任用職員人件費
6									
7									
振返り課題認識		・ オーケストラと友に音楽祭は、将来ビジョン実現のために安定した財源の確保やこどもから大人まで楽しみ、学べる内容に充実させる取組が必要です。 ・ 児童や生徒が生舞台芸術を鑑賞するために、主体となる学校がさらに利用しやすい制度とすることが必要です。							
上記の課題解決のための有効策		・ オーケストラと友に音楽祭は、こどもたちが参加しやすい計画を実行委員会と協議し、工夫していきます。 ・ 多くの小中学校が舞台芸術鑑賞を実施できるように、学校担当者に早期の情報提供や助成制度の見直しを検討します。							
次年度に向けての取り組み		・ オーケストラと友に音楽祭は、市民ニーズを把握しながら充実を図り、財政健全化の取組を進めます。 ・ 小中学生舞台芸術鑑賞は、学校が利用しやすい助成額の算出方法や利用しやすい制度とすることで実施校を増やし、事業の充実を図ります。							

1 事業概要

事務事業名		人形劇のまちづくり事業		会計	一般会計			
				事業区分	政策	実施区分	継続	
				開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市文化芸術振興基本方針					
			人形劇のまちづくりを推進する新たな仕組みに関する方針					
	法令・例規等							
事業目的		対象	市民					
		意図	人形劇フェスタのみならず、年間を通じて人形劇を鑑賞したり、体験したり、公演の企画運営を行い、人形劇のまちとしての魅力や価値を高めます。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・年間を通じて人形劇に触れてもらうため、人形劇フェスタや、人形劇定期公演、幼保・小での巡回公演などを実施しました。 ・伝統人形浄瑠璃の保存継承のため、伊那人形芝居保存協議会の主催による三味線体験講座を初めて開催し、14人が参加しました。 ・教育現場での人形劇活動のために講師派遣を行い、制作支援に取り組みました。 ・教育長が友好都市シャルルヴィル・メジエール市を訪問して、人形劇の交流を深めました。			いいだ人形劇フェスタ開催事業負担金				18,300			
				「いいだ人形劇センター」活動支援負担金				11,000			
				人形劇公演・巡回公演事業負担金				3,092			
				人形劇講座、地域劇団、人形劇活動への支援				2,665			
				人形劇のまち国際化推進事業費				2,133			
				伝統人形芝居保存伝承活動への支援				7,811			
				「人形劇のまち飯田」運営協議会負担金				534			
				人形とけい塔設備保守委託料他				957			
				会計年度任用職員				8,191			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	ワッペン期間中の観劇者数		人	25,000	28,161						
	フェスタ以外の公演の観劇者数		人	7,000	9,645						
	人形劇講座開催数		回	120	135						
	伝統人形保存継承のための研修回数		回	19	12						
	国外劇団の公演数		数	15	14						
	学校人形劇に取り組んでいる学校数		校	20	18						
7年度 決算 (千円)	予算額		55,973	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		54,683	(地) 脱炭素化推進（充当率90％）							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) ふるさと寄附金 3,200千円							
		県支出金	0	(そ) ふるさと基金繰入金 18,300千円							
		地方債	3,100	(そ) 繰越金 917千円							
		その他	22,417	6→7 繰越明許費 917千円							
		一般財源	29,166								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	13	1	12,591	12,491	人形劇のまちづくり推進事業費
2	1	10	5	7	13	4	18,300	18,300	いいだ人形劇フェスタ開催事業費
3	1	10	5	7	13	10	3,312	3,092	人形劇公演事業費
4	1	10	5	7	13	11	3,262	2,665	人形劇創造支援事業費
5	1	10	5	7	13	12	2,233	2,133	人形劇のまち国際化推進事業費
6	1	10	5	7	13	14	8,084	7,811	伝統人形芝居振興事業費
7	1	10	5	7	1	3	8,191	8,191	会計年度任用職員人件費
振り返り課題認識			・昨年度より観劇者数は増加しましたが、ボランティアスタッフの年々の減少や夏の酷暑下の開催などの課題が顕在化しています。実行委員会の有志により「フェスタの未来を語るプロジェクト」を1年間実施し、これからの在り方を検討しました。 ・少子高齢化により伝統人形劇浄瑠璃ははじめ人形劇に携わる人口が減少しており、継続的な人材育成が課題です。						
上記の課題解決のための有効策			・フェスタ実行委員会の有志で検討してきた成果をどのように具体化していくか、引き続き検討する必要があります。 ・学校での人形劇活動が部活動の地域展開により変化していく中で、こどもたちへの人形劇活動支援の在り方を検討する必要があります。						
次年度に向けての取り組み			・フェスタ実行委員をはじめ、フェスタに関わる様々な関係者との意見交換や今後の在り方の検討をします。 ・伝統人形浄瑠璃については、令和7年度に実施した初心者向けの三味線体験会に続き、義太夫研修を支援し、携われるすそ野を広げていきます。						

1 事業概要

事務事業名		竹田人形館管理運営事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			人形劇のまちづくりを推進する新たな仕組みに関する方針					
	法令・例規等		竹田扇之助記念国際糸操り人形館設置条例					
事業目的		対象	市民					
		意図	1 人形美術の素晴らしさを鑑賞できるようにする。2 人形劇のまちへの理解を深める。3 竹田人形の糸操り人形技術の継承。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・団体の来館が19団体となり、前年度比5団体の増加となりました。地元座光寺地区の乳幼児学級や小学校のクラブ活動を始め市内の中学校からも来館があり、人形劇や糸操りを身近に感じてもらえる機会を提供しました。 ・前年度に引き続き、体験教育活動の一環として県外の高校からの来館がありました。 ・来館者アンケートを実施し、年齢層や地域の傾向を検証しました。今後も効果的な営業活動や施設案内を進めていきます。		人形館維持管理費用				9,034				
			企画展、展示替えに関する費用				135				
			会計年度任用職員				6,150				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	竹田人形館の年間入館者数		人	2,700	2,373						
	営業活動数		回	5	6						
7年度 決算 (千円)	予算額		17,784	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		15,319	(地) 脱炭素化推進（充当率90％）							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 竹田人形館観覧料 554千円							
		県支出金	0	(そ) 諸収入 25千円							
		地方債	4,400								
		その他	579								
		一般財源	10,340								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	13	2	11,130	9,169	竹田人形館管理費
2	1	10	5	7	1	3	6,654	6,150	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			・ 伝統人形浄瑠璃である今田人形の特別展を実施し、糸操り人形との違いを感じてもらえる企画展示を行いました。来館された方からは大変好評でしたが、特別展の周知方法や、冬期など観光閑散期の誘客が課題です。 ・ インスタグラムを開設し、定期的に内容を更新していますが、フォロワー数はまだ少ない状況です。多様な媒体を通じた広報が必要です。						
上記の課題解決のための有効策			入館者数の維持や増加を図るために、継続的な広報や営業、展示の検討や実施を行います。						
次年度に向けての取り組み			人形展示の案内にとどまらず、敷地内の有効活用を検討する必要があります。						

1 事業概要

事務事業名		川本人形美術館管理運営事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			人形劇のまちづくりを推進する新たな仕組みに関する方針					
	法令・例規等		飯田市地域人形劇センター条例					
事業目的		対象	市民					
		意図	1 人形美術の素晴らしさを鑑賞できるようにする。2 人形劇のまちへの理解を深める。3 施設を活用した多彩な活動を実施してもらう。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・川本喜八郎生誕100年に合わせ、年間を通じて企画展やイベントを開催し、入館者数は前年度比で30%増加しました。 ・渋谷区との連携による人形企画展（三国志と平家物語）だけでなく、古布を利用した匂い袋やしおり作り、人形の帽子作りのワークショップを実施したことにより、多様な年齢層の参加につながりました。 ・SNS（X）を積極的に活用し、月平均7回の情報発信を行いました。 ・南信州観光公社や市内公共文化施設等と連携し、継続的に営業活動を行いました。			施設管理業務委託料				23,410			
				共用部管理負担金				7,855			
				修繕費ほか				31,865			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	川本喜八郎人形美術館の年間入館者数		人	15,000	15,432						
	企画展、展示替え、ワークショップ [°] の開催数		回	10	24						
	営業活動数		回	15	12						
	情報誌発行部数		数	28,000	26,600						
7年度 決算 (千円)	予算額		65,166	特定財源内訳及び補足事項 (地)脱炭素化推進（充当率90%）							
	決算額		63,130								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	1,000								
		その他	0								
		一般財源	62,130								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	13	9	65,166	63,130	地域人形劇センター管理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			開館から19年が経過し施設空調の故障が生じたため、1階、3階の空調設備の大規模改修工事を行いました。一方で、2階の空調は未改修のため、急な故障が生じた場合の対応が困難であり、営業に影響がでる可能性があります。						
上記の課題解決のための有効策			施設の計画的な保全を行っていく必要があります。						
次年度に向けての取り組み			・適切な施設の保全に向けた検討を継続していきます。 ・安定的な来館者数を確保するために、これまでの実績を検証し、営業活動やイベントを実施していきます。						

1 事業概要

事務事業名		文化施設整備事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	R4	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
	法令・例規等							
事業目的		対象	市民					
		意図	飯田市の文化芸術活動の拠点施設としての新文化会館の建て替えに向けた検討を進めます。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・文化施設の整備方針について、施設整備を取り巻く社会情勢や、専門家会議や整備検討委員会で得られた意見を踏まえた結果、現飯田文化会館の長寿命化、機能の分散整備、小・中・大ホールの段階的整備（複合化含む）としました。 ・市民や利用団体とのワークショップを開催し、今後の舞台芸術の在り方等に関する意見交換を実施しました。 ・市民の皆さんにさまざまな手段で、施設整備の検討状況や市内で舞台芸術に取り組む方々をお伝えしました。			文化施設整備事業費				2,797			
				その他の経費				0			
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	ワークショップ		回	4	2						
	検討会議（検討委員会、専門委員会等）		回	6	2						
	ニュースレターの発行		回	5	1						
7年度 決算 (千円)	予算額		13,042	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		2,797	(そ) 地域振興基金繰入金 2,437千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 繰越金 360千円							
		県支出金	0	6→7 繰越明許費 360千円							
		地方債	0								
		その他	2,797								
	一般財源	0									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	14	1	13,042	2,797	文化施設整備事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			「新しい文化会館の整備に関する基本構想」の実現性を検証していくことが必要です。						
上記の課題解決のための有効策			「みんなが集い、創り、伝える、感動の飯田ひろば」の実現に資する施設整備及び事業を実施します。						
次年度に向けての取り組み			市民の皆さんの文化活動を止めないことを前提に現飯田文化会館の長寿命化事業を進めます。						

1 事業概要

事務事業名		図書館管理運営事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市立図書館サービス計画					
		○	飯田市教育委員会施設等総合管理計画					
	法令・例規等		図書館法					
			飯田市立図書館条例					
			公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準					
事業目的		対象	図書館利用者					
		意図	図書館を安全かつ快適に利用できる					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・脱炭素化への取組として、上郷図書館照明LED化工事を実施しました。 ・施設設備の安全性確保のため、上郷図書館受変電設備の機器更新工事及び中央図書館消火栓ポンプ用直流電源装置内蓄電池の更新を実施しました。 ・図書館施設劣化状況調査結果を踏まえ、今後必要とされる施設改修や修繕の方向性を検討し、令和8年度から令和12年度までを期間とする飯田市教育委員会施設等総合管理計画（後期計画）で整備方針を明示しました。			上郷図書館照明LED化工事				11,902			
				上郷図書館受変電設備機器更新工事				1,650			
				中央図書館直流電源装置内蓄電池更新工事				1,991			
				施設設備点検委託料				1,313			
				施設設備修繕				832			
				施設設備管理・保守委託料				9,421			
				図書館管理消耗品				2,565			
				事務用機器借上料				267			
				会計年度任用職員人件費				75,415			
その他の経費				13,206							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	施設設備修繕件数		件	15	11						
7年度 決算 (千円)	予算額		129,900	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		118,562	(地) 公共施設等適正管理推進（充当率90％） 1,400千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(地) 脱炭素化推進（充当率90％） 10,700千円							
		県支出金	0	(地) 一般単独（充当率75％） 1,400千円							
		地方債	13,500	(そ) 諸収入 793千円							
		その他	1,276	(そ) 繰越金 483千円							
		一般財源	103,786	6→7 繰越明許費 483千円							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	5	10	1	51,132	43,147	図書館管理・運営費
2	1	10	5	5	1	3	78,768	75,415	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・ 図書館としての機能を保持し、施設を安全・安心かつ快適に使っていただくために、あらゆる世代の利用者にとって使いやすく安全性に配慮した施設整備が必要となります。 ・ 施設の大規模改修等にあたっては、断熱性能の高い材料の使用、省エネルギー性能に優れた機器の導入など、消費エネルギーの省力化及び再生可能エネルギーの導入を推進し、管理コストの縮減や計画的な脱炭素化に努める必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・ 劣化状況調査の結果を踏まえた予防保全型施設管理や、優先度を考慮した施設改修の実施に努めます。 ・ 法令等を踏まえた維持管理を徹底し、点検等において新たに確認された不具合等は早期に修繕を実施します。 ・ 飯田市教育委員会施設等総合管理計画に基づき、施設の環境改善に向けた工事等を実施します。						
次年度に向けての取り組み			・ 運転能力の低下がみられる上郷図書館の空調設備について、設備の更新工事を実施し、室内環境の改善を図ります。 ・ 経年劣化による施設設備の破損や故障を防ぐため、定期的な点検と計画的な修繕を実施します。 ・ 中央図書館の特殊建築物定期調査を実施し、施設の適切な管理に努めます。						

1 事業概要

事務事業名		図書購入・提供事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
		○	飯田市立図書館サービス計画					
	法令・例規等		図書館法					
			飯田市立図書館条例					
			公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準					
事業目的		対象	市民					
		意図	読みたい図書や知りたい情報を得て主体的に学び、心豊かな暮らしができる					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・各図書館で多様な内容の図書を購入、提供しました。読むことが不自由な方に録音図書や大活字本を提供しました。 ・地域の話題を館内展示やSNSで情報発信し、新たな本との出会いや気軽に来館する機会をつくりました。 ・利用者への声掛けを重視して情報探索支援や調べもの支援を行いました。 ・郷土資料を収集し、社会教育施設との連携による図書展示で郷土学習を支援したほか、郷土新聞のデジタル化を進めました。			一般(大人)向け図書購入費				23,687			
				郷土資料デジタル化業務				811			
				情報探索データベース使用料				1,302			
				コンピュータシステム保守点検業務委託料				4,092			
				コンピュータシステム機器使用料				8,078			
				図書搬送業務委託料				1,854			
				書誌データ作成業務委託料				1,881			
				書誌データ利用料				858			
				製本業務委託料				680			
その他の経費				1,820							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	購入冊数		冊	21,000	19,361						
	貸出利用者数		人	190,000	193,410						
	レファレンス件数		件	2,600	2,220						
	郷土資料の貸出冊数		件	6,000	5,262						
	地区住民1人あたりの分館貸出冊数		冊	1.6	1.5						
7年度 決算 (千円)	予算額		45,466	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		45,063	(そ) コンピュータシステム運営事業負担金 1,935千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 図書館ネットワーク搬送業務負担金 501千円							
		県支出金	0	(そ) 諸収入 15千円							
		地方債	0								
		その他	2,451								
		一般財源	42,612								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	5	10	1	6,563	6,445	図書館管理・運営費
2	1	10	5	5	10	2	23,246	23,246	図書購入費
3	1	10	5	5	10	3	12,171	12,170	コンピュータシステム運営事業費
4	1	10	5	5	11	1	2,982	2,714	図書館事業費
5	1	10	5	5	11	2	504	488	ビジネス支援サービス事業費
6									
7									
振返り課題認識			多くの市民が図書館を利用して読書や学びを行えるように、読書推進や図書館利用推進の取組が必要です。また、求める図書や情報を的確に得られるための支援が求められています。						
上記の課題解決のための有効策			・市民ニーズに応じられる蔵書の充実と、市民の興味・関心を広げる機会を提供します。 ・図書館へ気軽に来館でき、居心地の良い場所になるための取組を行います。 ・レファレンス（調べもの支援）の周知や、本・情報が探しやすくなるための取組を行います。						
次年度に向けての取り組み			・地域の動きや利用状況からニーズの把握に努め、新たな本との出会いや興味が広がる機会づくり、気軽に来館いただくためのきっかけづくりを行います。 ・レファレンス（調べもの支援）事例の紹介と情報探索支援に取り組みます。						

1 事業概要

事務事業名		こども読書活動推進事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策	実施区分	継続	
					開始	R2	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	3	飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市立図書館サービス計画						
	法令・例規等		図書館法						
			飯田市立図書館条例						
			子どもの読書活動推進に関する法律						
事業目的		対象	乳幼児・児童・生徒						
		意図	読書の機会が増え、楽しさを知り、読書習慣が形成される						

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・ 7カ月児と4歳児への絵本プレゼント、保育所を通して家庭への絵本の持ち帰りを進めました。 ・ 学校図書館と協働で、研修会や連絡会の実施や図書リストを活用した読書推進など小中学生の読書環境の充実に向けて取り組みました。 ・ 令和6年度実施した「飯田市児童生徒読書調査」により小中学生の読書の実態を把握し、取組に生かしました。 ・ 飯田駅前図書館で、高校生による紹介本展示や読書を通して交流しあう企画を実施しました。 ・ 市民団体や学校司書と協働でこどもの読書についての講座を開催しました。			児童向け図書購入費				9,050			
				はじめまして絵本・おともだち絵本				1,929			
				読書啓発講座講師謝礼・旅費				124			
				その他の経費				0			
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	はじめまして絵本を受け取った率		%	100	100						
	おともだち絵本を受け取った率		%	100	100						
	絵本を家庭へ持ち帰っている保育所数		園	32	33						
	小中学生対象の読書推進企画		件	7	8						
	高校生対象の読書推進企画		件	5	3						
7年度 決算 (千円)	予算額		11,200	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		11,103	(そ)ふるさと寄附金							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	1,600								
	一般財源		9,503								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	5	10	2	9,050	9,050	図書購入費
2	1	10	5	5	10	5	1,960	1,929	はじめまして絵本事業費
3	1	10	5	5	11	1	190	124	図書館事業費
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・ こども連れでの図書館利用を躊躇している方のため、気軽に利用してもらうための取組が必要です。 ・ 乳幼児期の読んでもらう読書から、小学生期の文字だけの本を自分から楽しむ読書への移行につまづきが見られることや、学年が上がるにつれ読書や図書館利用から遠ざかる傾向があることが課題となっています。 ・ 関係機関と連携した、こどもの発達に沿った取組が求められています。						
上記の課題解決のための有効策			・ こどもの発達に沿った読書体験の充実や、図書館や読書に親しむ環境づくりに向けて取り組みます。 ・ 関係機関が連携して取り組む体制づくりを進めます。						
次年度に向けての取り組み			・ 「こどもタイム」の設定と関連企画の取組で、親子での図書館利用を促進します。 ・ こどもの本に関する講座や講演会、市民の方や学校と連携した講座等を開催します。 ・ 「飯田市こども読書活動推進計画」を策定します。						

1 事業概要

事務事業名		図書館事業			会計	一般会計			
					事業区分	政策		実施区分	継続
					開始			終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる					
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画						
			飯田市立図書館サービス計画						
	法令・例規等		図書館法						
			飯田市立図書館条例						
事業目的		対象	市民						
		意図	読書活動を通じて、地域の学びが深まり交流が広がる						

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・中央図書館開館110周年記念事業として「としよかんマルシェ」「中央図書館のあゆみ展」、記念シンポジウムの開催、PR動画の作成などを、実行委員やボランティアと協働で行いました。 ・江戸の出版文化について学ぶ文学講座を開催しました。 ・地域の研究団体との共催により、郷土資料を活用して地域の歴史や文化を学ぶ講座を開催しました。 ・図書館内のスペースを活用して、地域の方の学びや活動を発表する場を提供しました。 ・分館では、地区の関係機関と連携して、本との出会いや地域の方が交流する機会を提供しました。			中央図書館開館110周年記念シンポジウム講師謝礼				84			
				中央図書館開館110周年記念事業印刷業務委託				763			
				中央図書館開館110周年記念事業消耗品費				289			
				中央図書館110周年記念動画作成謝礼				0			
				文章講座講師謝礼				80			
				録音図書製作研修講師謝礼				150			
				文学講座講師謝礼				20			
				点訳資料作成謝礼				14			
				ボランティア・イベント参加者保険料				35			
その他の経費				260							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	講座・企画等開催数		件	31	32						
	講座・企画等参加延べ人数		人	1,200	3,260						
7年度 決算 (千円)	予算額		1,864	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		1,695	(県) 地域発元気づくり支援金（3／4）							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 諸収入							
		県支出金	991								
		地方債	0								
		その他	81								
		一般財源	623								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	5	11	1	1,864	1,695	図書館事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			中央図書館開館110周年記念事業には多くの参加があり交流が広がりましたが、日常的な傾向としては、郷土資料を使って学ぶ人や読書に関わる活動を主体的に行う人が減少しつつあります。地域への興味関心、新たなつながりや活動が生まれるような学びの機会づくり及び交流の場づくりに継続的に取り組む必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			多くの方に郷土学習や読書を通じた交流活動に参加いただくために、市民と協働して、郷土資料を活用した地域の価値を学ぶ機会や、共に学びあい交流する場をつくります。中央図書館110周年記念事業を契機に生じた、市民の図書館・読書や交流活動への関心や意欲を大切にしながら取り組みます。						
次年度に向けての取り組み			・地域の研究団体と協働した講座の開催や郷土資料に興味・関心を喚起するための企画を実施します。 ・市民主催による、気軽に参加でき、読書について情報交換したり交流したりすることができる企画を支援します。						

1 事業概要

事務事業名		美術博物館管理事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
					開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン					
			飯田市教育委員会施設等総合管理計画					
	法令・例規等		博物館法					
			飯田市美術博物館条例					
事業目的		対象	美術博物館の施設（建物・設備・備品）、収蔵品					
		意図	適切な管理運営により、来館者の安全・安全を確保し学びの場を提供する。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・来館者が安全で安心して快適に施設を利用できる管理運営のため、建物や機械設備の適正管理を行いました。 ・教育委員会施設等総合管理計画に基づき、博物館としての機能を維持し、長寿命化するための空調設備等の改修を行いました。また照明機器のLED化工事が完了したことで施設内が明るく快適になりました。 ・博物館関連団体の主催する研修に参加し、専門知識の取得や情報収集などを行いました。 ・小中高校生の展示観覧料金減免（無料化）を行いました。 ・6→7 繰越明許費 施設の劣化状況調査を行いました。			委員等報酬・旅費				1,145			
				施設・設備等修繕				2,213			
				施設管理等委託				28,398			
				施設改修工事				11,111			
				施設維持管理費（光熱水費・通信運搬費・保険料他）				25,174			
				施設運営費（パンフレット等印刷・事務消耗品・事業用借上他）				3,623			
				協議会負担金				127			
				会計年度任用職員				26,652			
				劣化状況調査				608			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	修繕・工事等を行った建物・設備の件数		件	25	10						
	施設管理に対する要望件数		件	0	1						
7年度 決算 (千円)	予算額		110,628	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		99,051	(地) 公共施設等適正管理推進（充当率90％） 7,800千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(地) 脱炭素化推進（充当率90％） 1,800千円							
		県支出金	0	(そ) 美術博物館観覧料 3,407千円							
		地方債	9,600	(そ) 諸収入 489千円							
		その他	4,504	(そ) 繰越金 608千円 6→7 繰越明許費 608千円							
		一般財源	84,947								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	10	1	82,338	72,399	美術博物館管理費
2	1	10	5	6	1	3	28,290	26,652	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			・建物や設備の経年劣化が随所に見られることから、計画的な改修が必要です。 ・小規模な修繕が必要な箇所については、その都度適切に対応していく必要があります。 ・収蔵場所不足解消に向けた具体的方法の検討が必要です。						
上記の課題解決のための有効策			修繕が必要な箇所について、日常的な点検を行う中で早期に発見し対応していきます。						
次年度に向けての取り組み			・教育委員会施設等総合管理計画に基づき、受電設備の改修、空調設備の更新など施設の長寿命化改修を実施します。 ・収蔵場所不足解消に向けて、他の社会教育機関等と連携しながら収蔵場所の確保に向けた検討を進めます。 ・改正博物館法に基づく博物館登録の手続きを進めます。						

1 事業概要

事務事業名		美術博物館資料調査研究・収集保管事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン					
	法令・例規等		博物館法					
			飯田市美術博物館条例					
事業目的		対象	伊那谷の自然、人文、美術に関する事象や資料					
		意図	調査、研究、整理し、市民に還元する					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・ 自然、文化、美術を対象とした調査研究を行い、研究成果を展示や講座等で市民に紹介するとともに、学会発表や研究紀要・自然史論集などで公表しました。 ・ 田中芳男関連資料を活用できるよう整理、修復を進めました。長谷川善和コレクション及び柳田家関係資料の寄贈を受け、館蔵資料とし登録しました。 ・ 資料等の整理登録作業を継続し、デジタル化及び公開に向けた作業を進めました。 ・ 資料を良好な状態で保存するため、温湿度や害虫のモニタリングを行い、備品資料を中心に収蔵庫内の整理を進めました。			自然調査研究費				1,671			
				人文調査研究費				482			
				美術調査研究費				1,854			
				図書整理公開費				29			
				研究紀要				600			
				共通調査研究費				482			
				会計年度任用職員				11,443			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	研究発表数		件	50	40						
	美術資料作品登録点数		点	20	17						
	資料修復点数		点	3	17						
	人文資料登録点数		点	50	4,367						
	自然資料登録点数		点	100	5,713						
7年度 決算 (千円)	予算額		18,703	特定財源内訳及び補足事項 (そ) 諸収入							
	決算額		16,561								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	610								
	一般財源		15,951								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	27	6,271	5,118	美術博物館資料調査研究・収集保管事業費
2	1	10	5	6	1	3	12,432	11,443	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・ 地域に根ざした活発な博物館活動を展開するために、事象や資料を地域資源化するための継続的な調査研究が必要です。 ・ 貴重な資料や地域ゆかりの作品を散逸させないために、収蔵場所の確保が必要です。また資料の整理やデータベース公開を進め市民が活用しやすいようにするためには、十分な作業スペースの確保も必要です。 ・ 資料のデジタル化を進め、活用の幅を広げていく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・ 学芸員や市民が博物館を活用して、継続的な研究が行える環境を整えるため、作業スペースや収蔵場所の確保に向けた取組を続けるとともに、収蔵庫内の整理を進め、有効利用を検討していきます。 ・ デジタル技術を活用したデータベースの整備を進め、資料が活用できるように順次公開していきます。						
次年度に向けての取り組み			・ 地域に根ざした博物館活動の根幹となる、調査研究を推進します。 ・ 資料の整理、データベース化、デジタルデータ化を継続して進め、一部資料の情報公開を行います。 ・ 「伊那谷の自然と文化」に関する、市民の研究活動の支援を行います。						

1 事業概要

事務事業名		美術博物館展示公開事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン					
	法令・例規等		博物館法					
		飯田市美術博物館条例						
事業目的		対象	来館者					
		意図	「伊那谷の自然と文化」への理解を深め、その魅力を発信する					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・美術分野では、企画展「写真家60周年記念展 水谷章人の世界」と「第25回現代の創造展」を開催。また菱田春草常設展、コレクション展を開催しました。9年度の「(仮) I I D A セレクション展」開催に向けた準備を進めました。 ・自然分野では、企画展「南アルプス博物学の120年」を開催し、南アルプスの学術研究の歴史、高山植物や高山昆虫の研究成果などを紹介しました。また国立科学博物館と連携した田中芳男に関連したトピック展示などを開催しました。 ・人文分野では、遠山郷の山林との関わりに焦点を当てた特別展「山とともに生きる」を開催。また田中芳男や柳田国男に関連したトピック展示なども開催しました。			自然常設・トピック展示				1,130			
				文化常設・トピック展示				1,845			
				美術常設・企画展示				7,709			
				柳田國男館・日夏耿之介記念館展示				7			
				9年度展覧会準備				8			
				全分野共通				691			
				【戦略重点】南アルプス博物学展				733			
				【戦略重点】遠山郷特別展				3,708			
その他の経費				0							
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	観覧者数		人	37,000	29,927						
	展覧会開催数		回	23	23						
7年度 決算 (千円)	予算額		19,149	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		15,831	(そ) 地域振興基金繰入金 13,920千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 諸収入 564千円							
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	14,484								
		一般財源	1,347								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	28	19,149	15,831	美術博物館展示公開事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		・「伊那谷の自然と文化」に関する調査研究成果を集約し、地域の自然の特性や文化の多様性を展覧会で発信していくことが地域への愛着や誇りを育むことにつながるため、多くの市民に展覧会に関心を持っていただくことが必要です。 ・菱田春草や田中芳男などの郷土の先人の業績を紹介し、市民のムトスの学びにつなげる必要があります。 ・市民の知性や感性を刺激し、学びや感動につながる展示、市民の創造力を発信する展示を開催することが必要です。							
上記の課題解決のための有効策		・多くの市民に展覧会を知ってもらうために、有効な情報を発信します。 ・展示方法の工夫や講演会などの付随事業を行い、展示テーマに関する学びを深める機会を提供します。 ・時節を捉えて地域の魅力を発信する市民関心度の高い展覧会の開催します。							
次年度に向けての取り組み		・展覧会の魅力を多くの市民に知っていただくため、情報発信の強化や展示方法の工夫を続けていきます。 ・長谷川善和コレクションや田中芳男関連資料など、地域に関わる貴重な資料の魅力を展覧会で発信します。 ・創立80周年記念第82回南信美術展、第26回現代の創造展など地域の創造力に触れることのできる展覧会を開催します。							

1 事業概要

事務事業名		美術博物館教育普及・活動支援事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン					
	法令・例規等		博物館法					
			飯田市美術博物館条例					
事業目的		対象	市民及び下伊那郡住民					
		意図	「伊那谷の自然と文化」の特性と魅力を美術博物館を活用して学び合う					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・美術博物館全体の主催事業として、ワクワクびはくで夏休み、美博学芸祭を実施しました。 ・美術分野では、美術講演会、美術鑑賞の会、春草講座、こども美術学校、中学校造形教室を開催しました。 ・自然分野では、自然講座、自然講演会、電子顕微鏡観察教室、電子顕微鏡観察教室を開催しました。 ・人文分野では、文化講座、古文書講座を開催しました。 ・伊那民俗学研究所、伊那谷自然友の会など地域の研究団体の調査研究や普及活動の支援を行いました。 ・小中高等学校の出前授業や鑑賞授業、授業内容に即した個別テーマによる講座、展示解説等を行いました。		自然分野教育普及				161				
			人文分野教育普及				166				
			美術分野教育普及				726				
			総合教育普及				967				
			研究費助成				399				
			施設改修工事				62				
			会計年度任用職員				3,570				
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	講座・ワークショップ等参加者数		人	5,500	6,876						
	小中学校と連携した学習の機会		回	50	62						
	地域と連携した学習の機会		回	60	125						
7年度 決算 (千円)	予算額		7,308	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		6,051	(そ) 美術博物館施設使用料 248千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 美術博物館講座受講者負担金 171千円							
		県支出金	0	(そ) 諸収入 100千円							
		地方債	0								
		その他	519								
		一般財源	5,532								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	29	3,382	2,481	美術博物館教育普及・活動事業費
2	1	10	5	6	1	3	3,926	3,570	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		・市民や地域等の関心に応える多様な学びを支援する事業が求められています。このため、学校や地域からの講師派遣の依頼に応え、学校や地区公民館等地域の団体と連携した学習機会の提供を継続していくことが必要です。 ・地域の自然や歴史・文化等に詳しい人材が高齢化し、減少しています。 ・「ムトスの学び」を実践できる人材育成や活動団体の活性化支援に取り組んでいく必要があります。							
		・学校や地域からの講師派遣の依頼に応えた講座等の実施とともに、特に次代を担う人材の育成として、小中学生、高校生を対象とした出前講座のほか、こども達の創造力を高める美術学校、写真賞などの事業を継続して実施します。 ・市民に「伊那谷の自然と文化」の特性と魅力を発信するため、可能な範囲でリモート配信により学習機会を提供します。							
次年度に向けての取り組み		・館主催の講座等を開催し、伊那谷の自然と文化へ理解を深める学習機会を提供し、市民の自主的な学習を支援します。 ・「みらい創造科」の支援に向け、学校との情報や意見交換を職場内でも情報共有して対応していきます。 ・こども連れの方が気兼ねなく美術博物館を利用できる環境づくりとして、毎月「こどもタイム」を実施します。							

1 事業概要

事務事業名		美術博物館プラネタリウム運営事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン					
	法令・例規等		博物館法					
			飯田市美術博物館条例					
事業目的		対象	市民、来館者					
		意図	ふるさとの自然や文化、星空の持つ魅力に気づき、地域を大切にする心を育むとともに、地球を見つめ宇宙を夢見る広い視点と豊かな発想力を養う					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・天文・宇宙に関する番組の投影（一般投影、予約投影、特別投影）を行いました。 ・学校での天文学習や未就学児の星空との出会いの機会となる学習投影を行いました。 ・美術博物館屋上を会場に、星空観望会を4回開催しました。また学校や公民館、天竜川総合学習館などが主催する観望会に協力し、天文の魅力を伝え、宇宙への関心を持ってもらう活動を支援しました。 ・プラネタリウムまつりを開催し、プラネタリウムや天文に親しむ機会を提供しました。 ・投影機器更新に向けて情報収集を行いました。			番組投影				5,165			
				天文普及				41			
				研修旅費				129			
				事務消耗品費				183			
				機器保守・修繕				629			
				会計年度任用職員				4,895			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	プラネタリウム観覧者数		人	11,000	12,655						
	プラネタリウム投影回数		回	500	479						
	ドームイベント回数		回	5	3						
	宇宙・天文教育回数（観望会・館外活動）		回	10	13						
7年度 決算 (千円)	予算額		15,224	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		11,042	(そ) 美術博物館観覧料 1,375千円 (そ) ふるさと寄附金 5,300千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	6,675								
	一般財源		4,367								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	30	6,461	6,147	美術博物館プラネタリウム運営事業費
2	1	10	5	6	1	3	8,763	4,895	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		・プラネタリウムの投影や星空観望会を通じて、天文や宇宙の魅力を継続的に発信していく必要があります。 ・投影機器の経年劣化により投影できない日がありました。安定的な投影を続けるには投影機器の更新が必要です。 ・開館から30年以上経過し、社会情勢の変化の中で、美術博物館におけるプラネタリウムの位置付けを再検討し明確化する必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		・プラネタリウムの投影や観望会の開催、出前講座等により天文や宇宙の魅力を伝える事業を継続します。 ・機器更新のための情報収集を継続します。 ・美術博物館内でのプラネタリウムの位置付けについて検討します。							
次年度に向けての取り組み		・楽しみながら天文や宇宙について学ぶことのできる、魅力的な番組を投影していきます。 ・観望会や出前講座を通して、天文への興味を喚起します。 ・美術博物館におけるプラネタリウム設置の意義や価値について検証し、位置付けを検討します。							

1 事業概要

事務事業名		上村山村文化資源保存伝習施設管理運営事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
					開始	H9	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン					
	法令・例規等		地方自治法					
			飯田市上村山村文化資源保存伝習施設条例					
事業目的		対象	上村山村文化資源保存伝習施設（まつり伝承館天伯、ねぎや）					
		意図	施設の適切な維持管理と文化資源の展示、保存、情報発信、及び多目的利用による地域の活性化					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・ 指定管理者と協働し、まつり伝承館「天伯」及び隣接する山村ふるさと保存館「ねぎや」の管理運営を行いました。 ・ 遠山地域に伝わる霜月祭りや山村の暮らしの展示紹介の一部を展示替えをしました。 ・ 美術博物館で開催した自然・人文分野のトピック展示資料の巡回展示を行いました。 ・ 照明機器のLED化工事を完了しました。 ・ 指定管理者の更新を行いました。 ・ 6→7 繰越明許費 施設の劣化状況調査を行いました。			保険料（建物共済）				29			
				指定管理業務委託料				3,067			
				施設警備				198			
				施設改修工事				6,556			
				借地料				11			
				劣化状況調査				101			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	観覧者数		人	1,000	757						
	施設を活用した事業数		回	4	3						
7年度 決算 (千円)	予算額		10,646	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		9,962	(地) 脱炭素化推進（充当率90％）							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 繰越金							
		県支出金	0	6→7 繰越明許費 101千円							
		地方債	5,900								
		その他	101								
		一般財源	3,961								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	13	1	10,646	9,962	上村山村文化資源保存伝習施設費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・ まつり伝承館は、屋根の改修、LED照明への更新が完了し長寿命化を図りましたが、ねぎやの老朽化は進んでいます。 ・ 施設の老朽化に対して、利用者の安全を確保するため適切に修繕をする必要があります。 ・ 施設の活性化が期待できる運営形態について、次回の指定管理者の更新に備えて検討していく必要があります。 ・ 映像展示の機器更新について効果的な方法を検討していく必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・ 指定管理者との連絡を密にして、修繕箇所を早急に見つけ、適切な対処を行います。 ・ 指定管理の実績を踏まえ、より活性化が期待される運営形態を様々な角度から考察します。 ・ 映像展示の在り方を来館者に対する効果やシステムの運用コストなど多面的に検証して機器更新の検討をしていきます。						
次年度に向けての取り組み			・ 指定管理者との協働により、まつり伝承館「天伯」、山村ふるさと保存館「ねぎや」の管理運営を行います。 ・ 美術博物館のトピック展示の巡回により展示の活性化を図り、映像機器の更新についても効果的な方法を検討します。 ・ 施設の在り方について、次回の指定管理者の更新に向けて検討していきます。						

1 事業概要

事務事業名		南信濃民芸等関係施設管理運営事業			会計	一般会計		
					事業区分	経常	実施区分	継続
					開始	H2	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画	○	飯田市教育振興基本計画					
			飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン					
	法令・例規等		地方自治法					
			飯田市南信濃民芸等関係施設条例					
事業目的		対象	南信濃民芸等関係施設（遠山郷土館）					
		意図	施設の適切な維持管理と文化資源の展示、保存、情報発信、及び多目的利用による地域活性化					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・ 遠山郷の歴史と、その中で育まれた霜月祭、文化財、地域ゆかりの作家の作品などの展示により地域の魅力を紹介発信しました。 ・ 遠山郷をテーマとした学習講演会（講演会・見学会）と、自然、人文分野の研究成果を基にしたトピック展示を開催しました。 ・ 照明機器のLED化工事を完了しました。 ・ 6→7 繰越明許費 施設の劣化状況調査を行いました。		保険料(建物共済)				31				
			施設管理運営業務				1,036				
			施設設備保守等委託				424				
			借地料				435				
			施設改修工事				8,602				
			会計年度任用職員				2,902				
			劣化状況調査				90				
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	観覧者数		人	1,400	1,114						
	施設利用者数		人	2,400	1,975						
	施設を活用した事業数		回	8	6						
7年度 決算 (千円)	予算額		14,682	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		13,520	(地) 脱炭素化推進（充当率90％）							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 南信濃民芸等関係施設観覧料 310千円							
		県支出金	0	(そ) 諸収入 4千円							
		地方債	7,700	(そ) 繰越金 90千円 6→7 繰越明許費 90千円							
		その他	404								
		一般財源	5,416								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	14	1	11,593	10,618	南信濃民芸等関係施設費
2	1	10	5	6	1	3	3,089	2,902	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識			・ 遠山郷や霜月祭りの魅力を発信する施設として、美術博物館の研究成果を展示活用して活性化していく必要があります。 ・ 施設の老朽化に対して、利用者の安全を確保するため適切な修繕をする必要があります。 ・ 地域団体や個人で保存管理できなくなった文化財等を安全に保管できる収蔵施設としての機能が望まれます。 ・ 施設の在り方を検討していく上で、地域の団体との連携を進め、地域主体の事業運営の仕組みを作る必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・ 定期的に連絡して、修繕箇所を早急に見つけて、適切な対処を行います。 ・ 地域に残る文化財を保管する場所としての機能を整備していきます。 ・ 指定管理の可能性を研究し、より活性化が期待される運営形態を様々な角度から考察します。						
次年度に向けての取り組み			・ 遠山郷をテーマとした学習講演会や見学会、自然・人文分野の研究成果を基にしたトピック展示を開催します。 ・ 公民館や地域団体等と連携して、施設の多目的な利活用を考えていきます。 ・ 指定管理制度の再開の可能性と施設の在り方について検討します。						

1 事業概要

事務事業名		歴史研究所管理事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H15	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
		○	飯田市歴史研究所6期中期計画					
	法令・例規等		飯田市歴史研究所条例					
			飯田市歴史研究所管理運営規則					
事業目的		対象	市民、研究者等					
		意図	研究所の適正な管理運営を行い、地域遺産である史料を現在および未来の市民や研究者等に活用してもらう。					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・ 歴史研究所と書庫の施設維持管理を行いました。 ・ 市民や地域から受入れる資料及び市役所非現用文書から移管される歴史公文書に対応するため、愛宕蔵書庫内に文書箱を配置する棚を設置し、収蔵場所を確保しました。 ・ 収蔵場所の確保に向けた検討のため、旧役場文書の収蔵状況を把握をするための確認作業を行いました。 ・ 講座参加と書籍購入手続きの利便性向上のため、電子申請による参加申込みと資料代や書籍購入代金の支払いにキャッシュレス決済を可能にしました。			会計年度任用職員（レファレンス）				2,266			
				歴史研究所運営経費				1,024			
				歴史研究所施設維持経費				3,219			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	開所日数		日	250	250						
	施設の利用者数		人	300	485						
	相談・資料照会等数（単年度）		件	250	172						
	新たに収集した史料数		件	10	6						
	新たに公開した史料数		件	15	2						
7年度 決算 (千円)	予算額		7,747	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		6,509	(そ) 職員駐車場借地料負担金							
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	58								
		一般財源	6,451								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	8	10	1	4,577	4,243	歴史研究所管理費
2	1	10	5	8	1	3	3,170	2,266	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識			・ 地域団体の解散、家の建替えや後継者の不在等により、従来からの所蔵者による資料保存が困難になってきています。地域や市民からの資料受入れと、市非現用文書からの歴史公文書への移管により、今後は現在の書庫だけでは収蔵できなくなる事が考えられるため、継続した収蔵場所の確保に向けた取組が必要です。 ・ 老朽化した施設の維持管理が必要です。						
上記の課題解決のための有効策			・ 既存書庫の有効活用として、書庫内に文書箱を配置できる棚を設置します。 ・ 施設の点検と必要な修繕を行います。						
次年度に向けての取り組み			・ 押洞書庫内に文書箱を配置できる棚を設置して、文書箱約40個分の収蔵場所を確保します。 ・ 他の社会教育機関等と連携した資料の収蔵場所の確保と保存方法についての研究・検討を継続していきます。 ・ 施設の点検を定期的に行い、必要な修繕の対応をしていきます。						

1 事業概要

事務事業名		歴史研究所事業			会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H15	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる				
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画					
			飯田市歴史研究所第6期中期計画					
	法令・例規等		飯田市歴史研究所条例					
			飯田市歴史研究所管理運営規則					
事業目的		対象	市民、研究者等					
		意図	歴史的価値を有する資料を収集し、保存して広く利用に供するとともに、調査研究をし、その成果を市民に還元することにより将来の地域づくりにつなげる					

2 事業内容

7年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・ 地域史研究集会、飯田アカデミア 3 回、地域史講座 4 回を会場とオンライン併用で実施することで、多様な層に向けて学びの場を提供しました。高校や地域団体に研究員等を講師として12回派遣して、地域の学習活動を支援しました。 ・ 研究成果として『画像で見る 飯田歌舞伎座－明治の幻の大劇場』、『飯田・下伊那の建築と景観 和田のまちなみと遠山谷の斜面集落』、『年報』の3冊を発行しました。 ・ 研究人材の育成を目的にした、聞き取り入門講座を開催しました。また美術博物館と共催の古文書講座では、年20回のうち後期6回は中級者向けの内容で実施しました。 ・ 出前講座実施に向けて高校を訪問し、意見交換しました。			会計年度任用職員（研究員、研究補助）				14,472			
				研究集会、年報発行				1,417			
				史料調査研究活動				1,396			
				教育普及活動				1,041			
				地域史編さん・出版				1,208			
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	刊行物、論文数		件	10	21						
	地域史研究集会参加者数(延べ人数)		人	180	142						
	地域史講座等参加者数(延べ人数)		人	200	271						
	飯田アカデミア参加者数(延べ人数)		人	200	225						
	歴研ゼミナール等参加者数		人	550	536						
	出前講座等参加者数		人	500	564						
	地域団体との共同調査研究数		件	2	2						
7年度 決算 (千円)	予算額		22,199	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		19,534	(そ) 出版物売却代 723千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 諸収入 13千円							
		県支出金	0	(そ) ふるさと基金繰入金 1,000千円							
		地方債	0								
		その他	1,736								
		一般財源	17,798								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	8	11	1	3,843	2,813	歴史研究所調査研究事業費
2	1	10	5	8	11	2	1,213	1,041	歴史研究所教育事業費
3	1	10	5	8	11	4	1,420	1,208	市誌編さん事業費
4	1	10	5	8	1	3	15,723	14,472	会計年度任用職員人件費
5									
6									
7									
振返り課題認識			少子高齢化により、講座受講者には高齢者層が多く、地域史研究に関わる人材も減少傾向です。地域の歴史や文化に関心を持つ市民のすそ野を広げるため、次代を担う小中学生、高校生を対象とした出前講座の実施に向け、学校への依頼と情報や意見交換する機会を持つ必要があります。						
上記の課題解決のための有効策			・ 小中学生、高校生を対象とした出前講座の実施に向けた、学校への働きかけを行います。 ・ 地区公民館や地域の研究団体等への講師派遣による、市民の主体的な学習の支援を行います。 ・ 古文書講座等による研究人材の育成に向けた取組の継続が必要です。						
次年度に向けての取り組み			・ 次代を担う小中学生や高校生を対象にした出前講座の実施に向けて学校への働きかけに継続して取り組みます。 ・ 地域の歴史に関心を持つ市民のすそ野を広げるため、学校とともに地区公民館や地域の研究団体等からの要請による出前講座の実施により、市民の主体的な学習を支援していきます。また研究人材の育成に継続して取り組みます。						

事業No.	事業名
254	文化財保護事業

＝ 補足資料 ＝

成果の補足説明					
飯田市考古博物館入館者数					
区分	個人	団体	減免	無料	計
一般	661 人	145 人	86 人		892 人
高校生				10 人	10 人
小中学生				321 人	321 人
無料				1,243 人	1,243 人
計	661 人	145 人	86 人	1,574 人	2,466 人
観覧料収入					169,160 円

事業No.	事業名
265	図書購入・提供事業

＝ 補足資料 ＝

成 果 の 補 足 説 明

1 個人貸出状況（延べ数）

	一 般		児 童	
	貸出冊数(冊)	貸出人数(人)	貸出冊数(冊)	貸出人数(人)
中 央	251,426	79,022	63,262	13,854
駅 前	16,485	6,292	6,435	1,477
鼎	51,389	16,716	21,890	5,217
上 郷	76,888	25,193	37,690	9,004
分 館	46,014	16,335	47,771	15,387
合 計	442,202	143,558	177,048	44,939

	計	
	貸出冊数(冊)	貸出人数(人)
中 央	314,688	92,876
駅 前	22,920	7,769
鼎	73,279	21,933
上 郷	114,578	34,197
分 館	93,785	31,722
合 計	619,250	188,497

※「一般」は16歳以上の利用者をいう。
「児童」は0歳から15歳までの利用者をいう。

2 団体貸出状況（延べ数）

	貸出冊数(冊)	貸出団体数(団体)
中 央	10,519	1,564
駅 前	673	112
鼎	3,999	449
上 郷	15,664	1,236
分 館	24,409	1,552
合 計	55,264	4,913

※「団体」とは、高齢者介護施設や学校・保育園など
利用登録した団体をいう。

※「一般」は16歳以上の利用者をいう。
「児童」は0歳から15歳までの利用者をいう。

※「団体」とは、高齢者介護施設や学校・保育園など
利用登録した団体をいう。

飯 田 市

こども読書活動推進計画

令和9年2月策定
令和9年4月施行



1 計画がめざすもの

こどもが読書の楽しさを体験し、知ることや学ぶことの喜びを知ることが、言葉を学ぶとともに、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにするなど、人生をより深く生きる力を身につけていく上で大切なものです。また、読書は、新たな知識を得て、自ら考え、自ら行動するなど、こどもの成長に欠かせない働きをするとともに、読書の楽しみを知ることが、生涯の楽しみを得ることにつながります。

そのためには、こどもに関わる大人が読書の意義を理解し、そのおもしろさ、楽しさ、大切さを伝えるとともに、こどもが読書習慣を身につけることができるよう手助けしていくことが必要です。

こどもが読書を楽しむ機会を持ち、自主的に読書を楽しむことができるよう、家庭、地域、学校、図書館、行政など関係する主体が一体となって、こどもの読書活動を推進することをめざします。

◆計画における「読書」の位置づけ

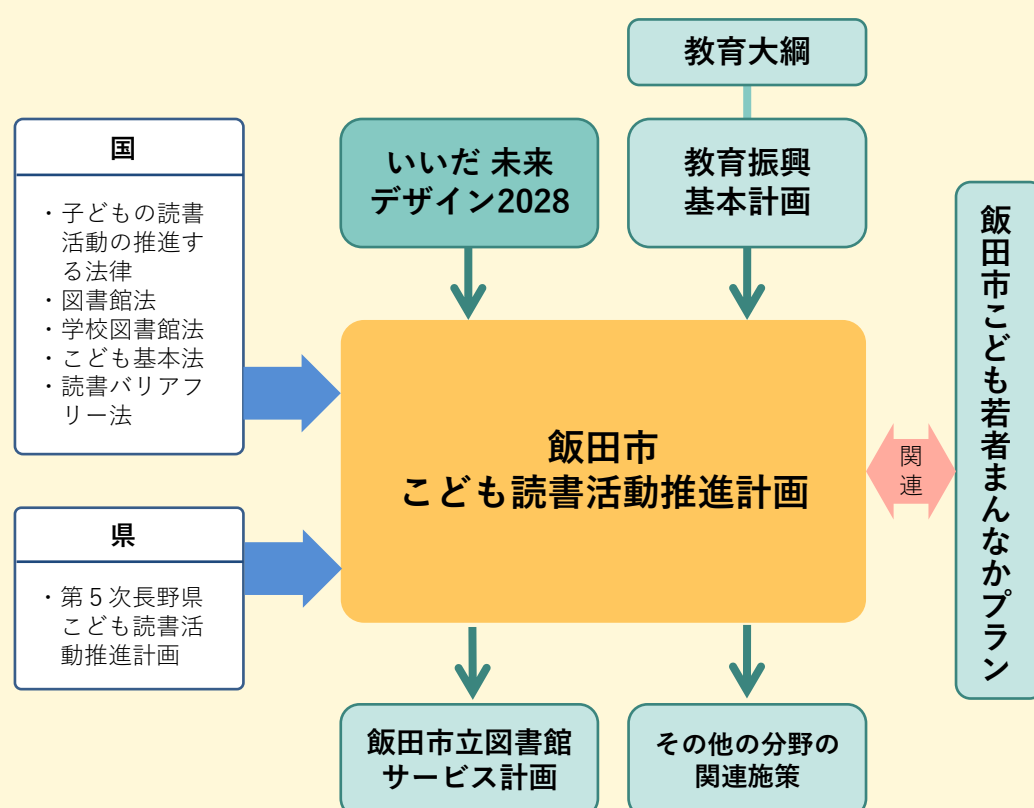
物語や小説など1冊の本をじっくり読み通す「読書」のほか、事典や図鑑を調べたり新聞等に目を通したりすること、探究的な学び等のなかで必要な情報を得ることなども「読書」と捉えます。

2 計画の法的根拠と位置付け

本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年法律第154号）に基づき、飯田市のこどもの読書活動の推進に関する施策の方向や取組を示すとともに、こどもの読書活動推進を担う関係者・関係団体の指針として策定するものです。

※計画の対象：0歳からおおむね18歳まで

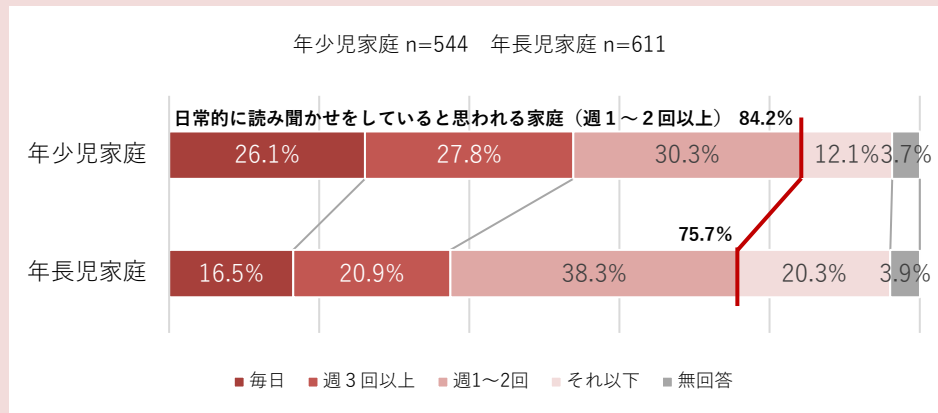
※計画の期間：令和9(2027)年からおおむね10年間



3 こどもの読書の現状と課題

乳幼児期

◆家庭での読みきかせの状況（令和4年度はじめて絵本／おともだち絵本アンケート）



- ・家庭で日常的に読みきかせをしている状況がみられるが、年齢が上がるにつれて、その割合が下がる傾向がある。
- ・保育所等から家庭への絵本の持ち帰り（貸出や定期購入等）も多くの園で行われているが、読まないまま返却される家庭もあり、家庭によって読書環境に差があることが見えてきている。

○課題

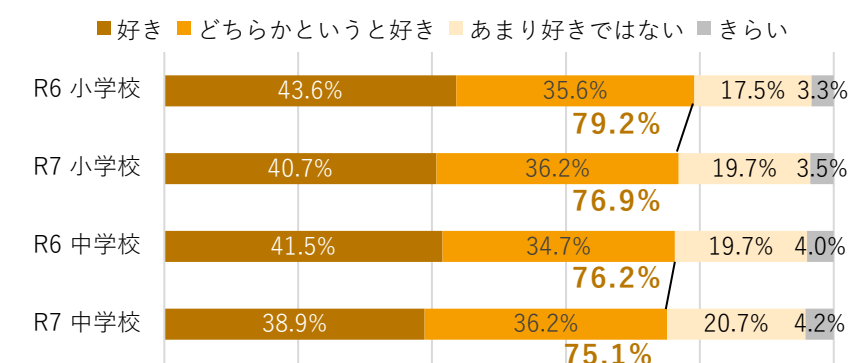
- ・こどもに関わる大人への読書の啓発
- ・保育所等や図書館など、多様な場でこどもたちが本を楽しみ、様々な本に出合える機会をつくる

小中学生期

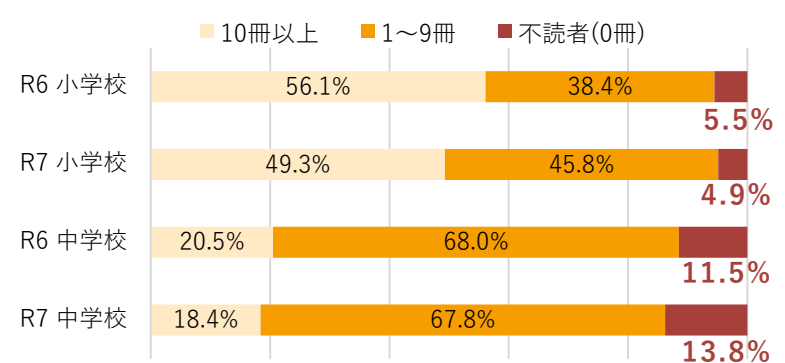
◆令和6～7年度 飯田市児童・生徒読書調査より

令和6年度：対象者（小3～中3）5,900人 回答数4,087人 回答率69.3%
令和7年度：対象者（小3～中3）5,770人 回答数4,660人 回答率80.8%

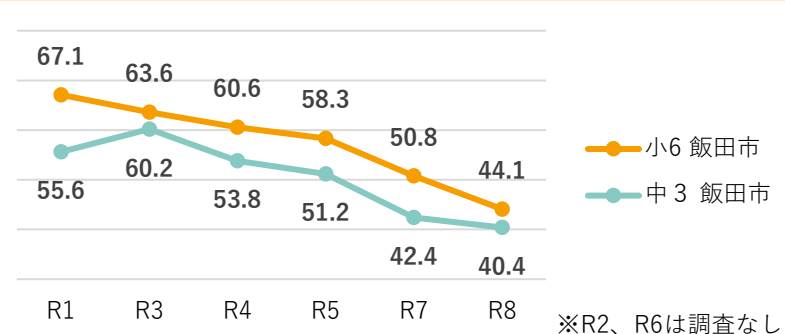
・本を読むことが好きと答えた割合



・不読率（1か月に1冊も本を読まない人の割合）



◆日常的に読書を行っているこどもの割合（全国学力・学習状況調査）



- ・「本を読むことが好き」「どちらかという好き」と答えた割合は高い水準にある。

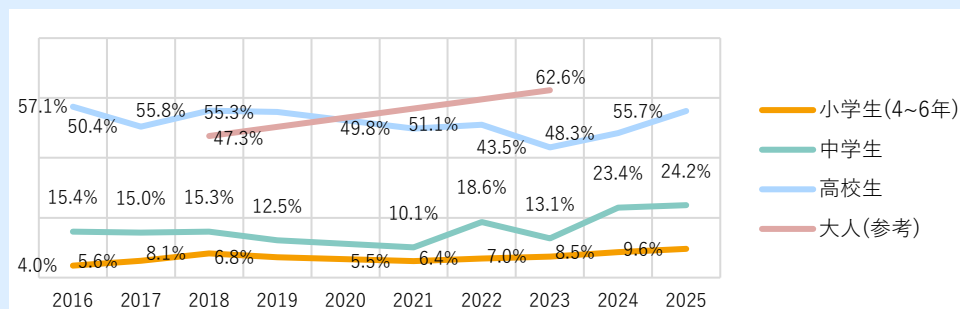
- ・一方、日常的に読書を行っているこどもの割合は、年々低下しており、「好き」という気持ちや、継続的な読書習慣にまで育っていない状況が見えてくる。

○課題

- ・「読んでもらう読書」から「自分で読む読書」への移行
- ・「読書は楽しい」「知識を得ることは楽しい」と実感できる体験の創出
- ・学校図書館運営体制の確立、市立図書館司書と学校図書館司書の連携
- ・こどもの視点に立った読書活動の推進

高校生期

◆不読率（全国）（2025学校読書調査(全国学校図書館協議会)より）



- ・減少傾向にあった不読率が2024年から上昇している。全体に成人の割合と近い傾向にある。

○課題

- ・本と出合う機会の創出
- ・視野を広げるような多様な本と出合うことのできる環境づくり

【参考】大人の不読率…令和5年度国語に関する意識調査(文化庁)

○すべての年代の課題 …… こどもを取りまくデジタル環境の変化

読書バリアフリーの取組

○課題

- ・多様なこども*が読書を楽しむ環境
- ・支援の周知

*視覚障がい、発達・学習障がい、身体障がい、母語が日本語でないこども等

読書活動推進体制

○課題

- ・関係者が連携・協力して取組を展開するネットワークの構築
- ・こどもの読書活動推進に対する理解促進



4 基本理念

本の世界に夢中になる体験を、こどもたちに

—こどもが読書を通じて言葉と心を豊かにし、生きる力を育む—

視点1

こどもが
「読書が好き、楽しい」
という体験を持つ

視点2

こどもの健やかな
成長のための読書

視点3

自ら進んで本を読む
こどもを育てる

視点4

社会全体で
こどもの読書を推進する

5 計画の柱

【柱Ⅰ】 発達段階に応じた読書活動の推進(こどもへの取組)

年齢に応じた読書に親しむ機会の提供と、読書環境の整備

乳幼児期

◆ 本に親しみ、豊かな感性とことばの土壌を育む

- ・様々なおはなしの体験を通してイメージや言葉を豊かにする。
- ・一緒に絵本を楽しむ時間から、自己肯定感や人への信頼を育む。

幼いこどもにとって、おはなしや絵本の世界に浸る体験は、未知の世界に興味・関心を広げる大切な時間です。また、読みきかせをしてもらうことで、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わうとともに、本を読んでくれる人と大切な時間を過ごす快さを知ることが、自己肯定感や人への信頼感を育みます。

乳幼児が絵本やおはなしなどに親しむことの重要性を保護者に伝え、教育・保育施設など、保護者や乳幼児の身近な場所で本の楽しさに触れる機会を作っていくことを通じて、読書の楽しさを知る体験や、一緒に読む喜びを知る体験を持つことに取り組めます。

主な取組

- ・家庭での読みきかせの重要性の啓発
- ・乳児が本と親しむ最初のきっかけを作る
- ・本との出会いの機会の提供
- ・乳幼児と保護者にとって使いやすく魅力的な市立図書館サービスの提供



小学生期

◆ 物語を読む楽しさを知る。様々な種類の本を楽しむ ◆ 自発的な読書習慣を身につけ、考える力の基礎を培う

1～2年生

おはなしを読む
楽しさを知る

3～4年生

自分で読む習慣を身につけ、
様々な種類の本を楽しむ

5～6年生

読書習慣を確立し、
考える力を深める

物語を読むことを通じて豊かな感情の体験をすることが、感性や共感力を磨きます。幅広い種類の本に触れることで、新たな知識を得て、好奇心を育てます。

そのためには、学校や家庭を中心として、こどもが「本を読んだ楽しかった」「知らないことを知っておもしろかった」という経験ができるような取組みを行うことが重要です。学校全体や家庭で一緒に読書する時間を確保したり、こどもの興味や目的に合った魅力的な本と出合ったりできるような読書環境づくりや幅広い分野の本を紹介していく取組を進めます。

主な取組

- ・物語の楽しさと、知識を得ることの喜びを知る機会の充実
- ・「読んでもらう」から「自分でひらく」読書への橋渡し
- ・家庭読書「家読（うちどく）」の推進
- ・探究的な学びを支える図書館環境整備

中学生期

◆ 多様な視点に触れ、社会と自分の未来を見つめる

- ・多様な物語や、広い分野の本を読む。
- ・課題を見つけ、解決に向け情報を活用する。

中学生は生活の忙しさや、スマートフォン等の影響で不読率が上がりやすい時期です。一方で、成長に伴い「将来に役立つ本」や「深く共感できる本」を求めるなど、関心が多様化する特徴もあります。生徒の関心に響き、本に興味を持つような取組を行うことや、図書館を気軽な居場所とすることで、読書へとつなげる取組を行います。

主な取組

- ・読書の幅を広げる体験
- ・不読率の解消に向けたアプローチ
- ・居場所としての図書館づくり
- ・探究を支える図書館づくり

高校生期

◆ 積極的な読書を通して、社会で生きていく力を付ける

多様な読書を通じて社会への目を開き、目的に応じて情報を活用する力を確立する。

高校生は大学受験・部活動・スマートフォン等の影響で、不読率がさらに上昇します。一方で進路選択、現代社会の課題への関心など、思考がより論理的・客観的に深まる時期です。「総合的な探究の時間」と連動した取組や、生徒の知的欲求を刺激する取組を行い、読んだ本を通じて人や社会とつながり、視野が広がるような本との出会いを推進します。

主な取組

- ・不読率の解消に向けたアプローチ
- ・生徒が主体となる読書活動の支援
- ・地域連携による探究学習のサポート

読書バリアフリーの推進

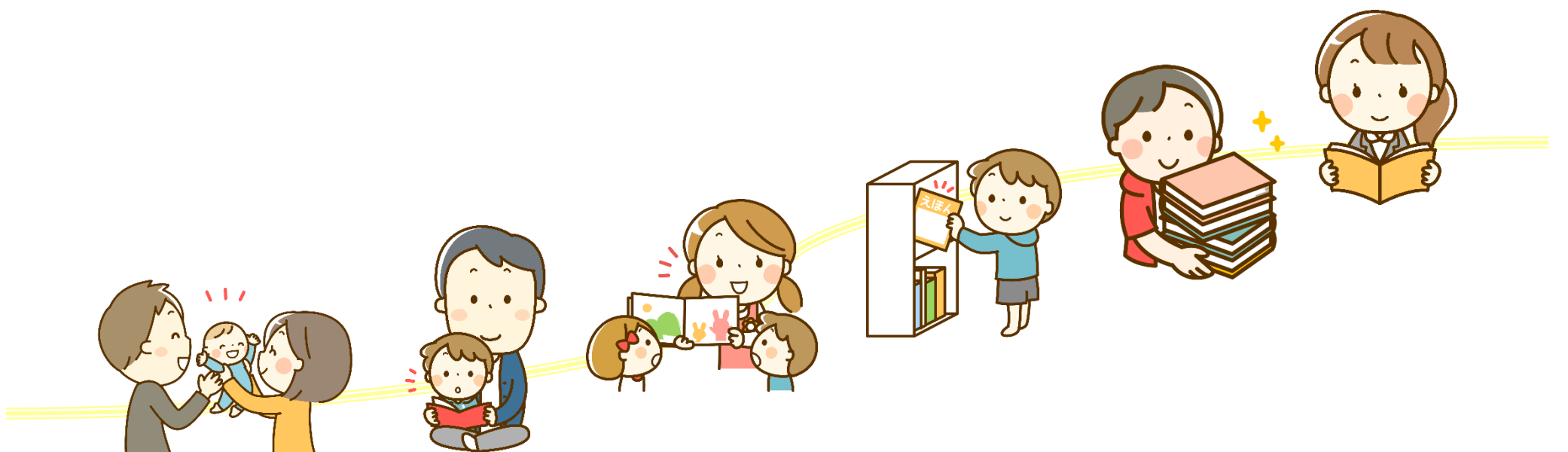
◆ 誰でも読書を楽しめる環境づくり

本を読むことが困難なこども、日本語を母語としないこどもへの取組

発達や視覚の特性、日本語の習熟度などにより、文字を読むことが難しいこどもたちは、必要なサポートや使いやすい本が十分に届いていないために、読書から遠ざかってしまいがちです。すべてのこどもが読書を楽しむことができるように、環境の整備と支援の周知を行います。

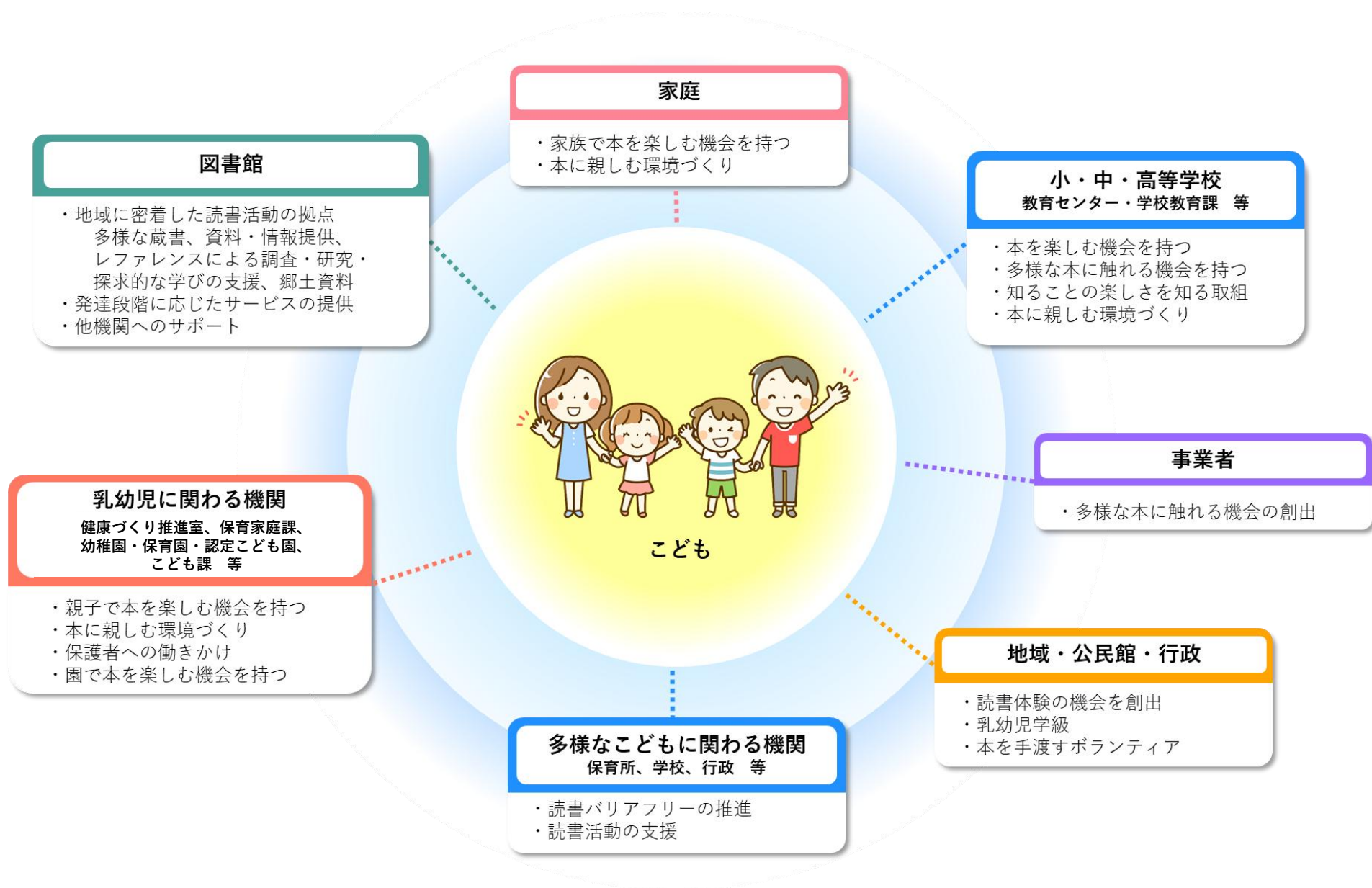
主な取組

- ・自分の意思で読みたい本を選び、自立して読書を楽しむことのできる環境。
- ・多言語・対訳の図書の提供
- ・支援の周知



【柱Ⅱ】 読書活動推進体制の充実 関係機関が連携・協力して、組織的に取り組む

こどもが読書を楽しいと思ひ、自ら読書をするためには、発達段階に応じた切れ目のない働きかけによる段階的なステップアップが不可欠です。そのためには、各家庭をはじめ、地域や保育所、学校・事業所・行政などすべての主体がそれぞれの立場で役割を果たし、連携・協力して取り組む必要があります。



推進の施策

主な取組

- ・こども読書活動推進フォーラムの開催
- ・こどもの読書活動推進に対する理解促進（講座、研修会、研究会、情報交換会等の実施）
- ・計画の情報発信、周知
- ・専門職員の配置とスキルアップ



こどもに関わる大人への働きかけ

◆大人が読書を楽しむ姿を見せる



こどもが本を好きになるためには、身近な大人の読書習慣が大きく影響します。近年、大人の「不読率」の上昇が深刻な課題となっています。これにより家庭の読書環境に差が生まれ、こどもの読書量や本への関心に格差が生じています。

こどもの読書活動を推進するためには、こどもに関わる大人への読書の啓発が重要です。

主な取組

- ・大人が読書に親しむ機会の提供
- ・大人への読書活動の啓発

6 計画の成果指標

	項目	事業概要	現状	中間目標 (令和13年度)	参考
1	絵本プレゼント達成率	はじめまして絵本事業	100% (令和7年度)		
2	絵本プレゼント達成率	おともだち絵本事業	100% (令和7年度)		
3	読書が好きと回答した児童・生徒の割合	飯田市児童生徒読書調査	小：76.9% 中：75.1% (令和7年度)		
4	不読率（小学生・中学生）	飯田市児童生徒読書調査 または全国学力・学習状況調査	小： 4.9% 中：13.8% (令和7年度)		
5	検討中				

7 関係法令等

- ・子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）
- ・図書館法（昭和25年法律第118号、令和5年法律第86号改正）
- ・学校図書館法（昭和28年法律第185号、平成27年法律第46号改正）
- ・【国】第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（4文科教第1858号、令和 5年 3月）
- ・【県】第5次長野県子ども読書活動推進計画（令和7年度からおおむね5年間）
- ・【国】第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」（令和4年～8年度）
- ・こども基本法（令和4年法律第77号）
- ・視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）（令和元年法律第49号）